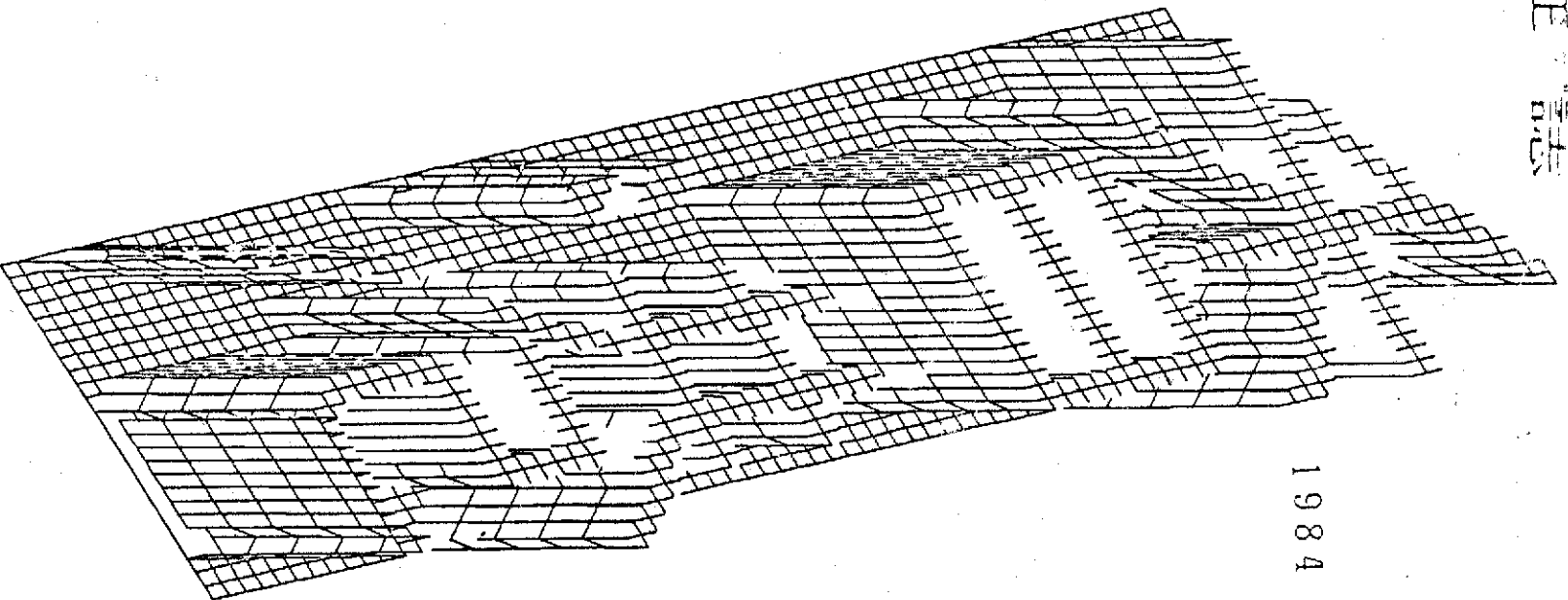


遠征誌

1984 12.20

- 12.24



慶応義塾バドミントン部

目次

はじめに ……	1
選手紹介 ……	3
～遠征誌より抜粋～	8
ヌケジュール表	11
“香港への途” <小出>	13
～遠征誌より抜粋～	19
“香港観光記” <佐藤>	21
～遠征誌より抜粋～	42
“香港交流旅行記” <早場>	49

～遠征誌より抜粋～

60

“マナーゾーガウ見た香港遠征” <五味栄>

61

～遠征誌より抜粋～

66

“謝斌-TSE BUN-” <小柳>

67

～遠征誌より抜粋～

76

“お世話にや、た人達” <五月女>

79

～遠征誌より抜粋～

87

“第2の故郷-香港” <石井>

89

～遠征誌より抜粋～

92

試合結果
編集後記

……

93
98

香港遠征誌 一はじめに

くる日もくる日もコートの中でシヤトルコ
ックを返、エ汗を流してゐる学生プレイヤー
の皆さん。バドミントンをエインジヨイしてい
ますか？ コートに何を置いていますか？ バドミ
ントンを通して自分の限界に挑戦するのは素
晴らしい若者の特権だと思えます。そして、
青春をこのシヤトルコックに賭けてゐるのは
ぼく達だけではありません。世界中のいたる
所にぼく達と全く同じように勉強に得られ、
挫折しながらバドミントンを心から楽しんで
いる若者がたくさんいるのです。今回午泊5
日という短い期間ではありますが、私が香港に遠
征したメンバーは若いプレイヤー達とまぎ
こトで楽しい、そして心からの歓迎を受け、彼
らのバドミントンに対する姿勢を感じてしま
した。プレイヤーがバドミントンに熱中する
姿はどこにいてもかわらないのではな
いでしょうか。若い7人のプレイヤーによる

「海外遠征体験記」

この遠征誌があなたの明日のバビミントン
へのインパクトになれば幸いです。

昭和60年12月22日

12 / Sa

你好！

DEAR HONG KONG BADMINTON PLAYERS!

GREETINGS AND SOME INTRODUCTIONS OF 7 MEMBERS

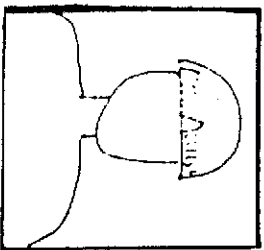
The day comes closer and closer. We are looking forward to playing with you.

Is it cold or warm in Hong Kong?

It is getting so cold in Tokyo. I'm dreaming of a fantastic Christmas eve in Hong Kong.

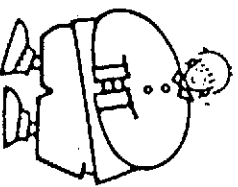
Let's have a nice game! Yuki.

— CONTENTS —

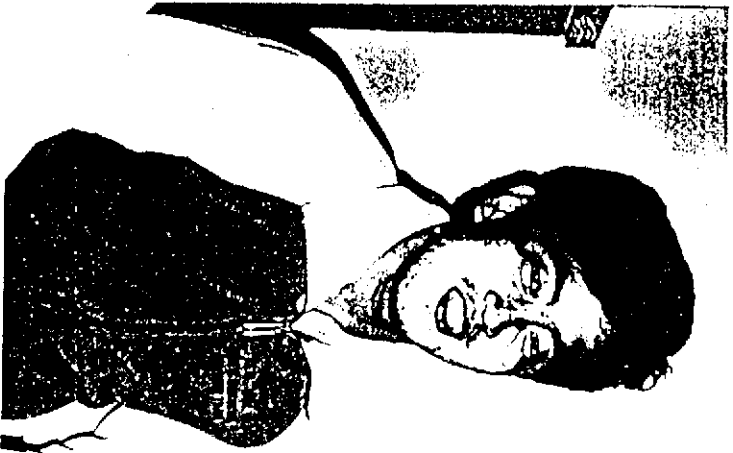


1. NAME
2. DATE OF BIRTH
3. POSITIONS
4. RANKINGS
5. CHARACTER

E X O U I S I T E



□□□



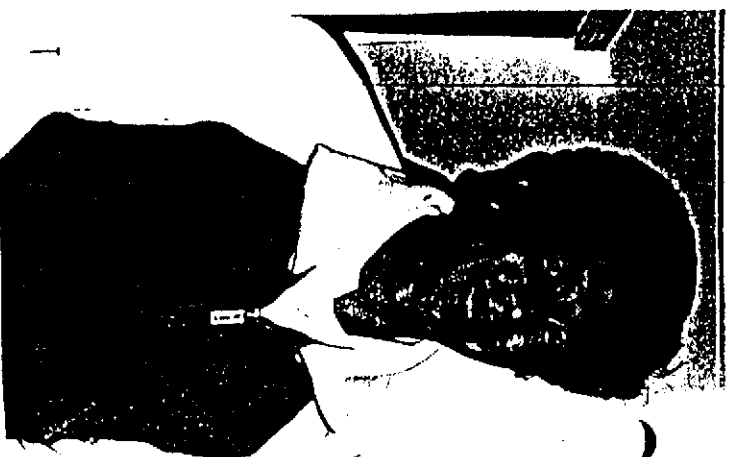
1. 小柳尚久
NAOHISA · KOYANAGI (NEEL)
2. 11 · 26 · 1960 24 (12)
3. JAPANESE BADMINTON ASSOCIATION
INTERNATIONAL MANAGER
4. · BEST 16 DOUBLES in KANTO DISTRICT
· 80 TOKYO AREA DOUBLES REPRESENTATIVE
5. HE IS ONE OF THE VALUABLE
OPINION MAKERS AND AN IMPORTANT
PERSON IN OUR CLUB.

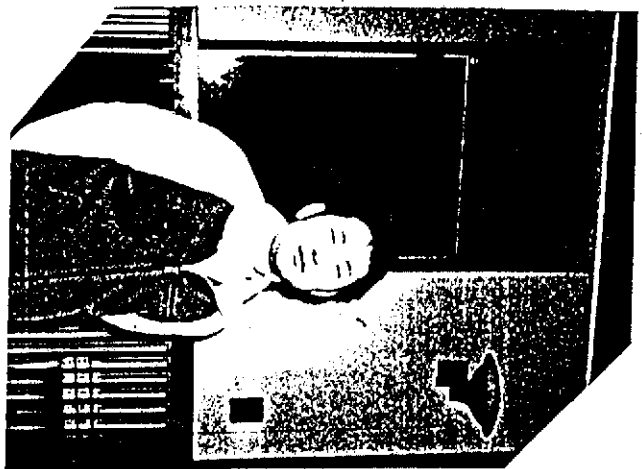
1. 五月女 孝孝

- TOSHITAKA · SAOTOME (OTOME)
2. 9 · 28 , 1961 23 (11)
 3. FORMER CAPTAIN OF KEIO TEAM
 4. · BEST 16 DOUBLES in EAST JAPAN
· INTERCOLLEGE TEAM EVENT
BEST 8 , MEMBER
 5. HE IS GOING TO BE A TEACHER IN
THE FUTURE.

HE RECEIVES SHUTTLECOCK FROM
CORNER TO CORNER , PEOPLE SAY HE'S
LIKE AN OCTOPUS.

E X Q U I S I T





1. 小虫 行雄

YUKIO-KOIDE (IKU)

- 2. 10.9, 1962 22 (10)
- 3. KEIO GIRL'S HIGH SCHOOL COACH
- 4. '84 B-GRADE TOKYO NO.2 DOUBLES
- 5. HE LIKES HIGH SCHOOL GIRL'S PLAYERS MORE THAN UNIVERSITY WOMAN'S PLAYERS.
HE IS CALLED "OROCHI" (A DREAMER OF BADMINTON).

1. 草場 律

RITSU KUSABA

- 2. 6.11, 1962 22 (10)
- 3. GRADUATED COURSE in SCIENCE AND TECHNOLOGY DEPARTMENT
- 4. 64 in INTERCOLLEGE
. INTERCOLLEGE TEAM EVENT
BEST 8, MEMBER
- 5. HE IS A VERY KIND PERSON EVEN THOUGH HE LOOKS A LITTLE MUSCULAR.





1. 佐藤研児

KENJI · SATOH (KEN)

2. 4.18.1963 21 (9)

3. CAPTAIN OF KEIO TEAM

4. BEST 32 SINGLES IN KANTO DISTRICT

· KANAGAWA PREFECTURE JUNIOR REPRESENTATIVE

5. HE RUNS LIKE A MOUSE ON COURT TILL YOU RUN OUT OF YOUR FITNESS. HE IS ALSO A VERY KIND AND FRIENDLY PERSON.

1. 五味 努

TSUTOMU · GOMIBUCHI (GOMI)

2. 11.22.1963 20 (5)

3. YOKOHAMA GIRL'S COMMERCIAL HIGH SCHOOL COACH

4. '84 B GRADE TOKYO No.2 DOUBLES

5. HE IS GETTING INTERESTED IN THE TRAINING METHOD OF BADMINTON.

SO, HE WANTS TO LEARN A LOT THROUGH THIS CAMP. IN NEAR FEA-

-TURE, HE WILL HAVE TO HOLD A KEY

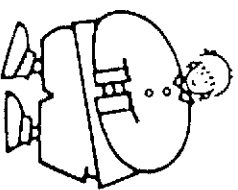
E X Q U OF KEIO TEAM I T





1. 石井 宏明
HIROAKI ISHI
 2. 5.6.1960 24 (9)
 3. COACH OF OUR BADMINTON
TEAM
 4. BEST 32 SINGLES in KANTO DISTRICT
TOKAI AREA REPRESENTATIVE
 5. HE HAS BEEN WORKING FOR
TOYOTA MACHINERY FOR ONE AND
A HALF YEAR. HE IS AN EDITOR
OF HIS COMPANY NEWS MAGAZINE
- THOUGH HE ISN'T VERY
POWERFUL, HE IS TACTICAL TO
BEAT THE OPPONENT.

E X O U I S I T E



11月25日

C.B. 会長 小宮夫人の御賛同を

得る 11

五大学OB戦に観戦に来られた

小宮会長は取上の遠征計画を話すと

「面白い話のやりと御自分の経験と」

ふり返りながら「香港は愉快な街だよ。」と

手拍子をして干した。

大会の閉会式の時、小宮夫人は

日本に下見に参り、御速においで願う所だ。

是非ともお越しなさい。多々の方を歓迎し、熱心

にお礼を述べたのを嬉しく思うと、皆さんも、

又、今後の進歩の大学に下見に参るに、

7月22日午刻を以て、遠征の出来を遠征にたい

と御報告と、「遠征が成功した是非は、

お家の方に委ねておきます」と御賛同

の意を表わされ下された。是非この遠征を

成功させ、小宮会長に御報告をいたしました。

申すお気持ち。

By 小宮

遠征誌抄抜粋

11/27

by 五味蒨

草場 12/4 ~

1. 練習会に決り
① ランチ: 決定試合
タワル又: 小柳草場
で固定
と組む。

五月女佐藤、小松、五味蒨、
石井さん、小柳、草場、

シカトル:

両方とも総当たり戦で決める。

2 記念会に決り

11/28 1:00 生駒に決り購入
カ、79. 八代(草場)
ヤ、79. 八代(草場) } 五味蒨 五味女 OK.

3 メンバ-表 (草場、佐藤、小柳、石井、
。名前 。学校名 。住所 TEL
。パスポート No

4 シカトル
On Line に入
二二 = 72 シカトル 1 組
OK BATA.

5. 準備会
11. 10.00 PM (10/4 草場) OK
由談、シカトル 記念品、 五味蒨

6. 食費 + 宿泊費 + 交通費を一括徴収。 12/4 2条-計二
1人 40,000円也。(F7A5-24E)に承認(9参照)

7. 平先生と監督さん承認。 12/6 篠原 班
五肢玉味菜力行。 早期に連絡。
平先生: 三田村君にて2か月。
監督さん
小倉君: OK!

8. 航空券代。 12/11. 12 book 2
1人 64,000円 / 3人 J.S.W. in

9. F7A5-24E
。 12/5(水) 午前中 1脚 玉味菜
。 宿泊が決定した後 → 決定

10. 保険問題
承認の手紙がきた。 12/12

次回の日 12/4

1. 50,000円を徴収

スケジュール

20日 : 香港空港着 [William, Jenny] $\xrightarrow{9:15}$ YMCA \rightarrow 買物

\rightarrow Y.M.C.A. [Vivian] \rightarrow 夕食 (セツ子と) \rightarrow 赤坂11丁目 (昔々) \rightarrow Meeting
 \rightarrow 自由行動 [William]

21日 7:00 起床 朝食 8:00 出発 $\xrightarrow{8:15}$ Jenny 合わせ $\xrightarrow{8:30}$ 世下勢 中文大学 試合

\rightarrow 昼食 中文大食堂 \rightarrow 少田寺 買物 [Octbus, Stmarkt] $\xrightarrow{10:30}$ $\xrightarrow{11:00}$ $\xrightarrow{11:30}$ $\xrightarrow{12:00}$ 中文大

Under 21 試合 $\xrightarrow{12:30}$ 康樂飯店 (J, W, V, Tse, M, R, X) $\xrightarrow{1:00}$ 急げ $\xrightarrow{1:30}$

少田 [Vivian 父] $\xrightarrow{1:45}$ Y.M.C.A. $\xrightarrow{2:15}$ 少田 出かけた

22日 7:00 起床 朝食 8:00 出発 $\xrightarrow{8:15}$ 少田 [Vivian] $\xrightarrow{8:30}$ National 43

シゴビー - 食堂 (FANTA ROOT BEER CREAM SODA) \rightarrow Y.M.C.A. [Tse Bean]

船バス $\xrightarrow{8:45}$ 29:11 (香港島) 買物 $\xrightarrow{9:15}$ Central バス乗り場 [Vivian]

$\xrightarrow{9:15}$ $\xrightarrow{9:30}$ 船バス $\xrightarrow{9:45}$ 赤白バス (水士) [Jenny] $\xrightarrow{10:15}$ 船バス $\xrightarrow{10:30}$ 水士船に

カイトラマ: 出現 $\xrightarrow{10:45}$ Central $\xrightarrow{11:00}$ Y.M.C.A.

23日 7:00 起床 朝食 8:00 出発 [William] \rightarrow シゴビー トクキト ルニシツ

トクキト - 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 \rightarrow シゴビー 食堂 Chan Chi Choi と共に $\xrightarrow{9:30}$ 2

を運んで来たけれど \rightarrow 少田 447 \rightarrow Y.M.C.A. (Jenny) \rightarrow 西洋波 181 道い

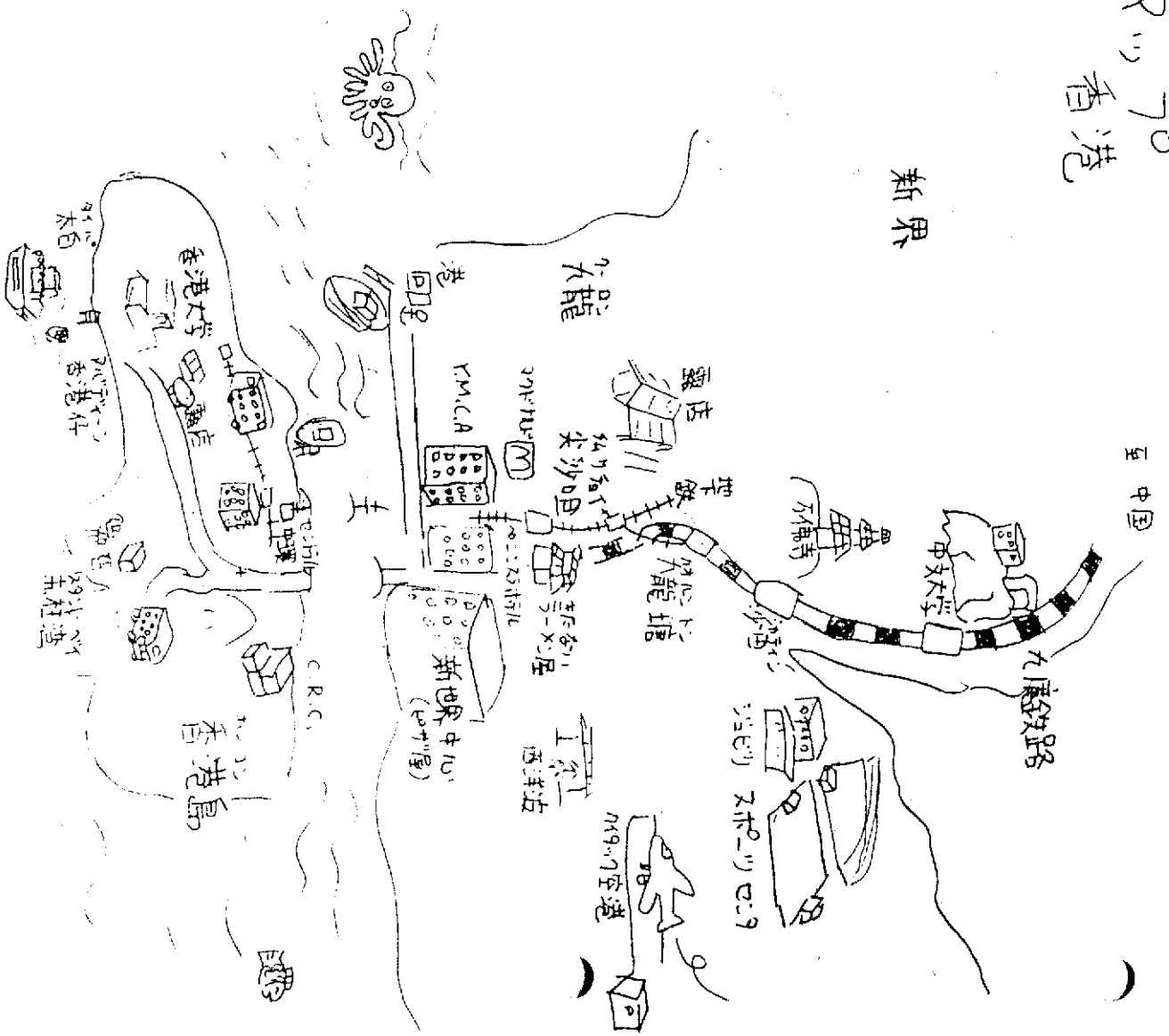
\rightarrow C.R.C. 試合 \rightarrow Y.M.C.A. William に 交代 \rightarrow 2 残り \rightarrow 露店で 最後

の眠 $\xrightarrow{9:15}$ Y.M.C.A. J, V, Tse ホテルに入れた

24日 9:00^P Jenny, Vivianに起こされたので [William] 船場まで、香港大学
 露店屋食のジミジミしたところの 階下で露店屋まで、大園倉 買付物 10時後
 Y.M.C.A. 90分 → 4分半 [Chan Chi Choi] Chan Chi Choi 時 Y.M.C.A.
 → 空港 [Jenny, Vivian, Chan Chi Choi, William]

2070
 香港

新界



香港への途(みち)

小虫 行雄

「有志を集めて香港にバドミントンを
行ってみないか。」

小柳尚久さんから初めてこう誘われたのは
ぼくが引退を

まぢかにした

昨年(1984年)

の10月始めだ

った。秋のり

「一から外さへ

くまぶるバド

ミントへの

情熱のやり場

に困っていた時だったのだから、その時は即座に

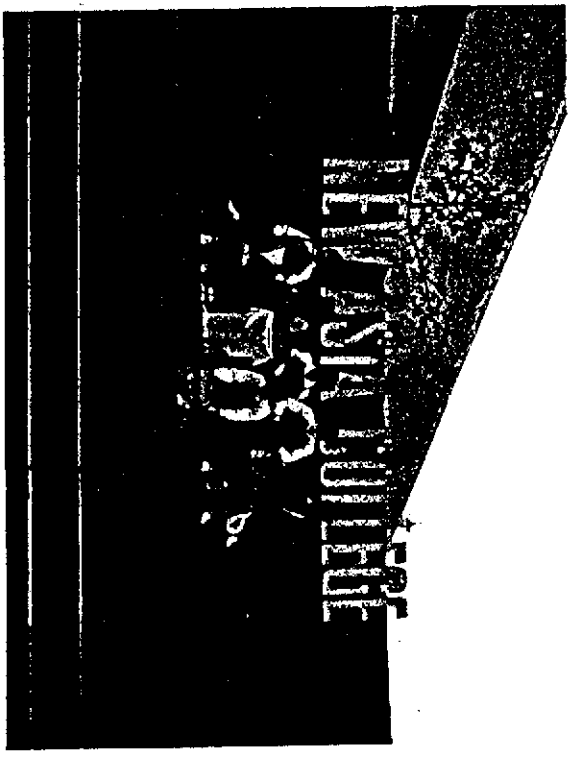
「おもしろいのでちね、行きましたよ。」

と、気軽に返事をしたのだ。

クラブをやめて、専門学校へ通うがたから、

何気なくバドミントンを始めてしまっただけ

十 months 中旬になると、目標を見失ってぼん



海外第一校を終えた。ついでに「カンパニー」
中大卒業のバドミントンクラブの仲間たち。
(1984・12・21)

やりとしていた。勉強をしなきゃいけないという強迫観念だけはつづけるが、少しもやる気にはならないという中途半端な日々が続き、

「香港なんすってどうなる？」

と考え始めていた。そんな時に小柳さんはこう言っ、て励ましてくれた。

「今の自分に：これから自分のとって一番大切なものは何だったか？ 思い通りに負けていけない。香港のブリーダーがぼくらに行くのを待って、ついでにくれるんだよ。海外遠征に行くなんて一生のうち今しかできない事じゃないか。目標があるなら、時間は自分で作るはずだよ。」

この言葉を聞いて、また消極的になっ、てしまっ、てる自分に気がついた。こうして10月末になっ、て、ぼくは香港行きを決めた。

一般に大学生の海外遠征というと、日本でトップレベルにあるチームが学校やOBの協力を得て、技術を磨きに行くものであるう。

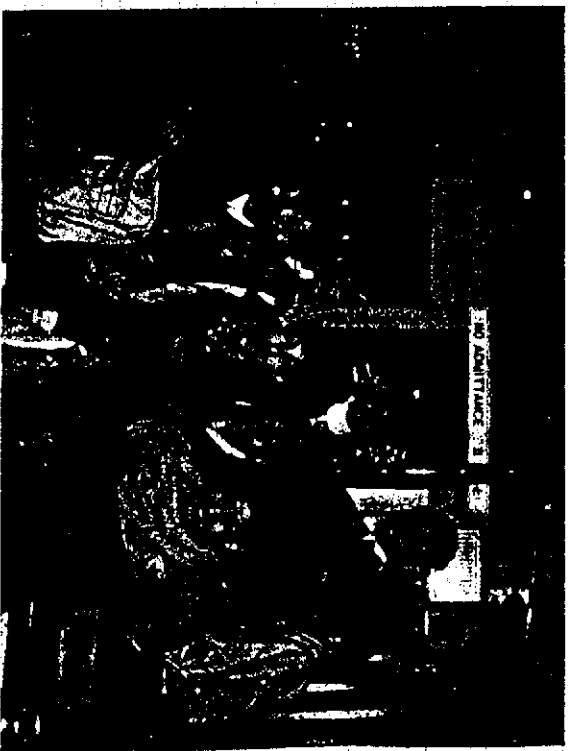
しかし、この第一回香港遠征隊結成のそもそもの目的というのが「自分達のキで何かから何までやりとげる事」であつた。一体、自分達は慶應大学に入り、体育会でも4年間を過ごして、自分のキで何かを創つてきたのだらうが、狭い枠の中に閉じこもつてつまらなッバドミニントシしか知らなッで、ここまできしまったのではなッだらうが。バドミニント・プレーヤーを一を自負するなら自分達にしかできない何かをやつて、そこ本物ではなッだらうが。このようになッ強ッの自意識を持つて集まつたメンバーが八人。又ここには、慶應義塾高等学校の二人も参加してゐた。

「自分達のキで第一歩を振く」理想を掲げた以上、遠征の計画・手続・準備等は全てメンバーの知恵と行動力に任せられてゐた。10月末に行なわれた第一回ミーティング以来、何れも何れも集まつては少しづつ少しづつ夢が現実のものとなつてゐた。

まず、手始めに香港へ渡るための準備があ

った。バスボートを取り、旅行保険に入り、
旅券を買う。二本だけの事にさえ、又予一ジ
ャー担当の五味洲君が二本だけ忙がしく走り
回った。ただろうが、元して、香港のグリー
への記念品や
ニヤト equal の
購入。部長先
生やOB会長
の承認の受託。

香港へ送るた
ンバー紹介の
作成などの難
用があった。
これをも人の
ナンバが分担任して行、たのであるが、それ
ぞれが忙がしいスケジュールの中から練習時
間をツクリ、こうした仕事をする時間をツク
リ



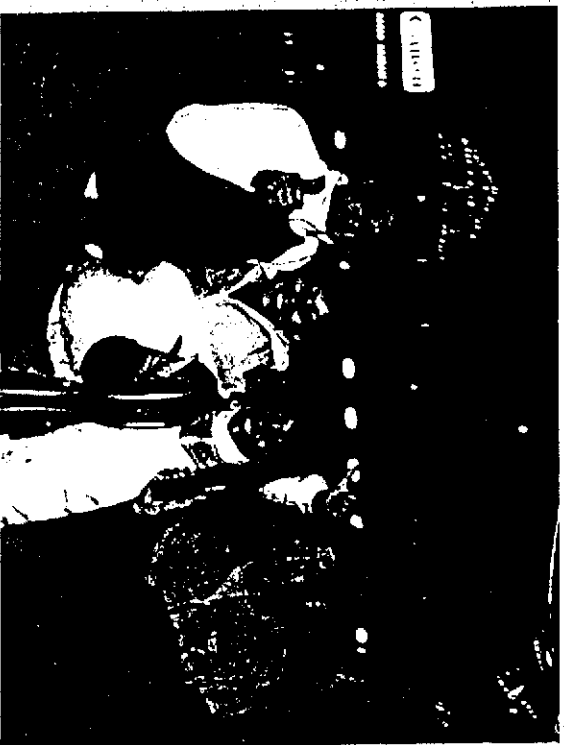
世界史型指に入る(!!)中華レストランへ
オリエントバー通。『おあ食う代』——!!
(1984.12.22)

「香港に何かがあるのか。」

と自問自答しながら、外国でバドミントン

に専念できる旅を夢見ていた。そんな時に豊田織機で働く石井O Bの遠征参加が決まり、ナンバー達は非帯に心強く思おうと同時に、香港でのパドミントンがまた少し楽しさを増すと確信したのであった。

この遠征への大きな不安材料として英語の問題があった。言葉の通じない相手とパドミントンができるのだから、香港で一入、迷子になる、ってしまったら生きている日本に帰ってこられなくなるのか。そんな不安を少し解消して、く木たのが、小柳さんの友人・デービット君の英会話教室だった。日本に留学中である彼は、覚えてきたての日本語を友えて簡単な日常表現の特訓(別巻)としてく木た。対戦相手のプレイヤーにはなったり、銀行の窓口係になったり、大変に気を使った。



ごちそうを食べ終えた上、機嫌のTHE OCTOPUS FAMILY!
(7パティーン海上レストラン 船付場にて)

れたものだ。ナンバーにソラッては、言葉のあまり通じない人とも、ちびにウチとけられると穴感した事が、一番大きかったのではないかと思う。

こうして、さまざまな陣営を乗り換え、いよいよ香港へ旅立つ日が近づいてきた。香港のナシヤー人はズンバドミントをやるのが。うまく意志が通じ合、て楽しい時間を過ごすことができるのが。期待と不安が入り混じって興奮状態に入りながら、まな板の上のコイになったような気分です。ウ人は12月20日を迎えたのだ。

申込証より抜粋

申込証より抜粋
申込証として1冊の)トを持ち歩きまわったこと

1930年 第1回ミーティング 臨時書き比留に。19

連絡先 DIANA LO

234 Argyle St. 6B Elite House, Kin HONG K

① 選手写真 子-6 紹介 慶應ジュニア部の歴史 小出

2 記念品 (ポスター(子-4), ビッツ(各1))

11/21 各信

3 指面シャツ 各1

4 ショトル 積士NEW 10本352円 → 4本 (一人負担 6千円に相当)

5 手紙 10数行 (各1)

11/4 小柳

① 訓練 資格 スパ-1(確証)

11/4 小柳

② ハウスホ-ト 航空(旅行社)保険

11/15 決定

9 ホ-グジ 一不要

10 ミ-マガ

11/3 聖火聖

11 各簿

聖火聖

12 ビンバ

11/3 聖火聖

13 各簿

11/3 聖火聖

14 文庫本 各個人

11/3, 11/4

15 Lホ-ト 議事録

期間 20~24

17 写真

11/3 五目女

草場

現実はずばしい。集まり、マイビニーは6人で新しい人は佐藤

だけ。実際のことを考えれば参加しづらいのはわかる

が、何かを作り出さなければ、かき合えるとは燃えるのか

出さないと大きい。これを下かきおこなうには。実際には技術了

て維持していかなくてはならない

遠征誌抄抜粹

20
(中文大學生のナール-ジ)

陳雪雲 CHAN SIET WAN

辛・ゼツラン

シヤニチホ、はじめて

わたしたしにほんごがきでた。あなた様にはほんごをおしえてあげられます。どうもありがとうございます。

高木レイ

趙綺玲

CHIU YEE LING E LING

はじめまして。わたしは日本へ来ました。

です。機会があれば、もういちど会いましょう。

リ・ス・ゼン

李衛昌

LI WAI SANG, BRIAN

はじめまして。今日は大変うれしかったです。

機会があれば、会いましょう。

香港観光記

by 佐藤 研見

12月20日、こゝは飛行機の中、初めての海外とゆうこともあり、不安と期待の入り混ざった気持ち、しかし、それとは裏はうに機内サ―ビスの酒を飲んで寝入ってしまった。あつた。うまに香港上空へ来てしまった。機内から見た香港の印象は、やたら高い、そして汚いビルがあたり一面に林立しているの一言。そのビルの真上を飛行機は着陸のためには次第に高度を下げる。ビルに激突するのではないかと、うとうと恐怖が湧き上がる。が、無事着陸。税関もあっけなく通過した。迎えた来たいたWilliamとJennyと共にすぐタクシーで宿泊地Y.M.C.A.へ向った。

このタクシーの中から見た香港の印象：古びて汚ないビルばかり。なんとなく空気がほこりっぽいように見える。道路は日本と同じ。左側通行で、カーブが多く、立体的な交差点も多い。信号は縦に3つ並び、目の高さとも変わ

うないような高さにある。最初、何度も上を見
 見させてさかしてしまった。

宿泊地のY.M.C.A.はパンフレットとはムビク
 違い古びていたが、日本とは全然雰囲気か違
 い、なかなかなよかった。

Y.M.C.A.に着くとすぐに翌日の朝食を買いに
^{ナムサチヤイ}尖沙咀の街へ出た。この付近のビルは結構新
 し^{ニュー}い^{ワールド}も^{センター}多い。さすがに観光街だ。朝食は
 新世界^{ニュー}中心^{ワールド}内のスーパーで買った。食パン1

斤が何とH\$2。エルー安さだ!!朝食を買いと一
 旦Y.M.C.A.に戻り、朝食を置いてすぐに街へ出
 る。夕食を食べるためである。さっき目をつ
 けておいたピザ屋へ行く。中華料理onlyを恐
 れていた僕としてはluckyと思っただが、何もわ
 ざわざ香港ままで来てピザなんて…、と複雑な気
 分。ピザの味はまあまあ。シエーキーズの
 がおいしいや、と一人でいじける。でもここ
 のスパゲティはおいしかった。そしてビル
 飛行機の中で飲んだのと同じだった。日本の
 より甘い。苦くない。ビールを割る

たような感じか？このビール、遠征中よく飲んだが、飲むに慣れておいしくなってきた。買って来ればよか、たゞ後悔した。

ここでいくら食欲も皆の食欲は衰える気配なし。危険を感じたマナープログラムの提案により店を出る。次に入ったのは薄汚ない中華料理屋。こんな所はツア－旅行じゃ来ないだろ。と優越感にひたりながら料理を待つ。出てきたのはラーメン、ワンタンなど。器は日本のもちのりかなり小さいが、量は結構ある。ラーメンは細くニリニリして旨い。ワンタンは日本と違い中身がいっぱい入っている。エビが入っているようだ。うまい。そしてもう一種類、うどんのようなきしめんのようなめんがあった。めんは平べったく短い。

食後、Y.M.C.A.でのミーティングが終わってから、William達とわかれ五月女士さん、草場さん、3人で街を散歩。数回、変なお、さんが、「女、女、若い女、遊び」とたまたまの言葉で寄り、てくる。草場さん必死で逃げろ。ボ

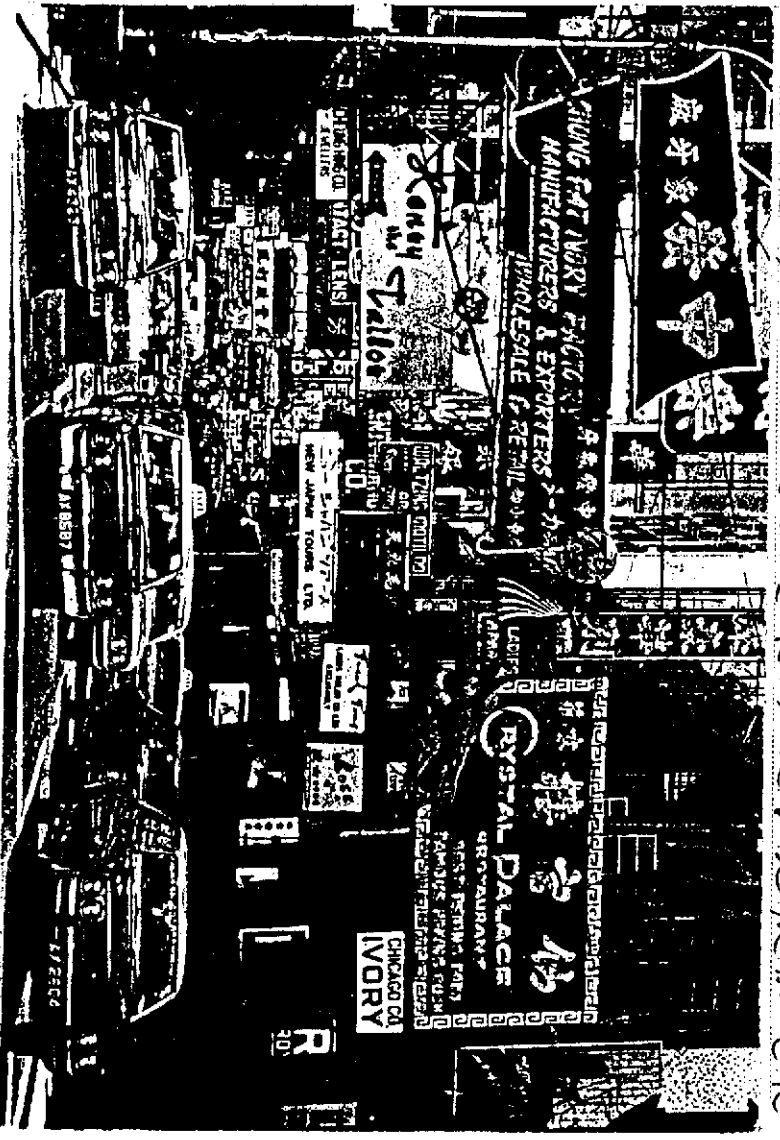
デインガードとして期待していた僕ほかがかかり
した。その他酔ったおじさんには「あなたたち
日本人ですか」云々まよわれるがやうと逃
れた。銜はクリヌヌを前に、ネオソがきれ
いだった。帰りにマクドナルドで飲み物を買
うことに成功。自分もやうと慣れてきたよう
だ。思っていたよりも安全な銜だと安心した。
が、疲れはかくせなかった。

歩いての香港の印象：車が多い。先ほどほ
こり、ぼく感じたのは排気ガスのためあると
自分一人で納得した。したがって、道路沿い
は空気が悪く苦しかった。人よりも車が優先
していて、歩行者を無視して左折してくる。
ウインカーも出さずにすごい勢いで左折する
車、必死で逃げず歩行者、日本では見られな
い光景だ。タクシーの色は赤。新界^{ニューテリトリー}地域を走
るものは緑と決まっていたらしい。車のこと
でもう一つ。全体の半分近くの車の左側のサ
イドミラーがなかった。また、右ドアミラー、
左フエンダーミラーの車が多かった。歩行者

用の信号の間隔は非常に短かかった。

人々もまた多い。色々な国籍の人々がいりようであり、初めは圧倒された。至る所に両替商があり、夜遅くまでやっていり。香港の雑誌を見ると、日本のマイルが表紙のものが多数あり、人気もあるようであった。

街はやはり汚い。ビルも汚なくゴチャゴチャしてゐるが、ものすごい熱気を感じ、街全体が生きてゐるようであった。そして有名なバカデカイ看板。道路の方へ突き出ている一番手前のものしか見えない。奥の看板をかきかしてしまふほどのかさだった。地震がきた



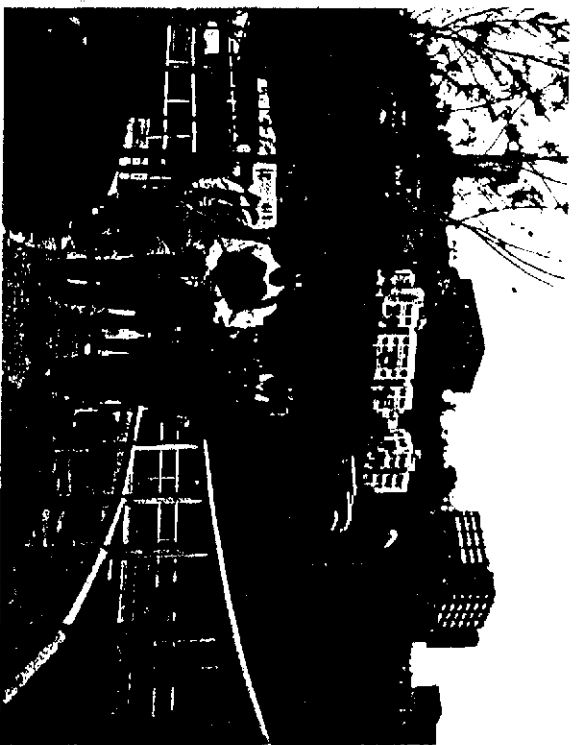
う死者が出そうだ。また、あたり一面に高層ビルが隣合っている。このビルの様子はどう表現しているかわからない。百聞は一見にしかずである。こうして長い長い一日は終わった。二日目、七時起床。眠い。朝食をすませて八時にほもう出発だ。今日はバドミントンの初日、遠征は今日から本格的に始まるわけである。最初の対戦相手である香港中文大学までは、Y.M.C.A.の近くにある尖沙咀駅チムサトウから地下鉄に乗り、旺角駅ワンゴでも一本の地下鉄線に乗り換え、九龍塘駅カウロンで今度は九廣鉄路という鉄道に乗り換え、大学駅まで行く。地下鉄、九廣鉄路とも車内はスラッシュ製で日本より幅が広く感じる。地下鉄の座席はスラッシュ製で堅く、座り心地はいいとは言えない。日本の一ツリ皮は輪であるが、香港の場合、球でこの手を握るようになってつかまる。ボクシングのパンチボールを手のひらでおうこぎできめる大きさにしたような感じ。この“一球”とも言ううべきものが座席と平行して車両の中央

を一系列にぶら下がっている。これをうつるために支柱が車両の中央にあり、じやまだった。ちなみに座席は日本と同じように進行方向に平行に並んでいった。香港の中心部を走りこの地下鉄の中は活気を感ずるが落ち着けない。自分たちを見ろ乗客の目が異様に感じ、自分たちも日本で外人を見ろとまきはこんな目で見ているのかと思ひ、自己嫌悪におち入った。ホームに通ずる階段はなく、エスカレーターのみで、電車か到着するたがに混み合う。また、ホーム内での飲食は禁止していらしく、Jenny に注意された。九廣鐵路の方は、地下鉄に比べ、ローカル色が強く感じた。座席はオレシンジ色の合成樹脂のようで、多少地下鉄に比べ座りやすしい。配置は進行方向に全て垂直で、横須賀線のような感じであつた。この二つの電車で面白いのが切符。プラステック製で大きさは日本の定期券くらい。改札は全て自動改札で、出るときは、切符はそつちま回収されてしまう。この切符は何度も使用

さされるうしく、汚れているものも多かったです。
切符の裏には広告もあり、カラーであります。我が
我が最初に手にしたのは、普通の切符ではな
く、日本の回数券のような性格を持ったもの
で、その切符はある一定の金額分使え、乗る
たびにその運賃分だけ金額が減っていくもので、形は普通の切符と一緒。ただし、出ると
き残高があらわれれば、その券は出て来て、機械に
残高が表示される。もし残がなくなると場合、
券は回収されるが、その時の不足分はサービ
スとなるらしい。

さて、話をもとに戻そう。丸廣鉄路の大学
駅を降りると、駅前に中文大のスクーピバス
が待っている。これに乗って中文大へ行くと
わけであるが、中文大の山全体に立
地していて、目指す体育館はその山の頂上に
あった。坂は急傾斜で歩いて登るのはつら
すぎ。中文大の数ヶ所へ今日試合にっり
てのボクスターがはらわれてあり、その歓迎のさ
れ方には驚いた。帰りは駅まで歩いておりました。

図書館は3つあるらしく、すこい、と思ったが、平先生によると本の数は少なく大したことはないうらしい。ここはさすがに田舎！



FILIPON ORIENT AS

で高層ビルは目につかなかったが山の至る所に中文大の校舎や施設・寮が見えた。ちなみにここを走るタクシーは緑色であった。

午後はジユビリー・スポーツ・センター (J. S. C.) で試合である。J. S. C. へは中文大のある大学駅の一手前の沙田^{シヤタン}駅^{ニューテリパー}で降り、タクシーで行く。ここはタクシーは新界地域ならではの赤であった (帰国してから気付いた)。J. S. C. はスポーツ施設が完備され、すばらしいの一言であった。この詳細は他に譲る。試合の後、William, Vivian, Jerry, Tse Bun さんと沙田の康樂飯店という店 (日吉ではない) で夕食を食べた。

このころから、皆うち解け始め、帰りの電車の中ではウルトラマンの合唱。草場さんは踊りたそうであつたが結局踊らなかつた。Jennyが「おー、急げ!!」と変な日本語を連発。

このころから本領を発揮し始めた。この遠征が楽しくなり始めたのはこの時からである。

三日目、午前中J.S.C.で試合、午後には待たず、た観光TIMEがきた。案内役のTse Bunと共に又タクシー(赤柱)へ行く予定である。赤柱へはスターファミリーという船で香港島の中環へ渡り、そこからバスに乗って行く。ファミリーは、一階が二等でHK\$40, 二階が一等でHK\$70である。この日は一等に乗り、別の日に二等に乗ったが、一等も二等もあまり変わらないうような気がした。それにしては運賃の安さには驚かされた。日本の感覚と違い、船も一般の交通機関(バスや鉄道)と同じ感覚で利用されていようであり、運転間隔は短く、船内も地下鉄の中の雰囲気と同じに感じた。運賃は前払いで、自動改札になつて、

地下鉄の切符のかわりにお金を入れればよい。
一等と二等では入口が別になつてゐた。納て
分中で中環へ到着、バスに乗つたわけであるが、
香港のバスはほゞバスが二階建バスで、今回、
乗つたのも例外ではない。バスの中は汚く、
特に窓は汚れがこびり付き、外を見ると気
になる。座席は全て進行方向を向いてゐる。
道路が悪いか、スラッシュが悪いのか、振
動が激しい。バスの外部に、色々な奇麗な広
告があるものもあり、見ていても楽しい。バ
スを降りるときは、日本のようにボタンを押
すが、そのボタンは階段付近に一ヶ所しかな
かつた。

そうこうしてゐるうちにはバスは赤柱に着い
た。スラッシュメーカーは日用品ばかりで、
確かに安いのが、おみやげ屋が少なく少しが
かり。それでもしつかりと土産は買った。値
切ろうとしたが言葉が続かず、実現できな
かつたのが悔しかつた。スラッシュメーカー
はア人橋の道幅を狭くして、ぼろくしたよう

な感じ。雰囲気にはムたれた。Ｔシャツを一枚、違う安物を買わせてしまった。ヌクンシーマータクトを出ると海岸線に出る。ここ景色は静かぞ落ち着き、西洋風で絵を見るようであった。

赤柱で買物の後は、先ハバスで中環へ戻り、タクシーで水上レストランのあるアバダイーンへ向った。この水上レストランのため、朝食をけちってまた熱々にして期待するものは大きかった。タクシーを降りると海に浮かぶ水上レストラン。色とりどりのネオソが綺麗である。一瞬、うちの近所のネオソを思い出す？水上レストラン、太白海鮮舫へ行くためには岸とレストランを結ぶ船に乗らねばならぬ。綺麗なネオソがただんて大きくなり、ついに到着。レストランの中には、一種独特の雰囲気、今までの高級ムードが漂う。メニューも日本語付き。例によってビールを飲みながら、料理を待つ。さすが今までの違うぜ、ビールもグラスが空

くと注ぎに来てくくれる（横では五母女さんが迷惑そうな顔をしていいるが）。料理は何か出たかは忘れたが旨い。期待は裏切られなかった。今まで食べた中でもどこか一ツあり、特にスゴク夕の味は忘れられないうほどうまかった。日本（のように油こくなく、さっぱりしていいる。

ここに限らず、香港で食べた中華料理は、日本と違いさっぱりしていた。これなら毎日喰っていられると思つた。ただ、ご飯はほ“そほ”そで、日本の方がよかつた。はしはご存じのようにな、太く長い。これは、中華料理といふのは料理が一人ずつ来るのではなく、テーブルの中央に料理があり、みんなで小皿にうつて食べるため、遠くのものでもとれるように長くなっていいるらしい。

とこころで、水上レストランで買ったのはトイシ。トイシに制服を着たおじさんがいて、用を足し終わると、手を洗うために水道の水を出してくくれる。そして、そのあとにタオルを渡してくくれる。チップを要求される

の目は見えなくてため、無視しようとしたが、無視しきれず、ついにチツゴをとりつけてしまった。さて、食事を終え、皆満足してレストランを出。岸まで一の船に乗る。この遠征も三日目となり、みな友達だ。またウルトラマンの歌を出し、ついに草場さんも踊り出した(右写真)。Jenny、Vivianなどにも大受け。ウルトラマンに国境はなかった。



四日目、午前中、J.S.C.

でトーナメント、^{チン}陳智才^{チン}と昼食の後、午後は

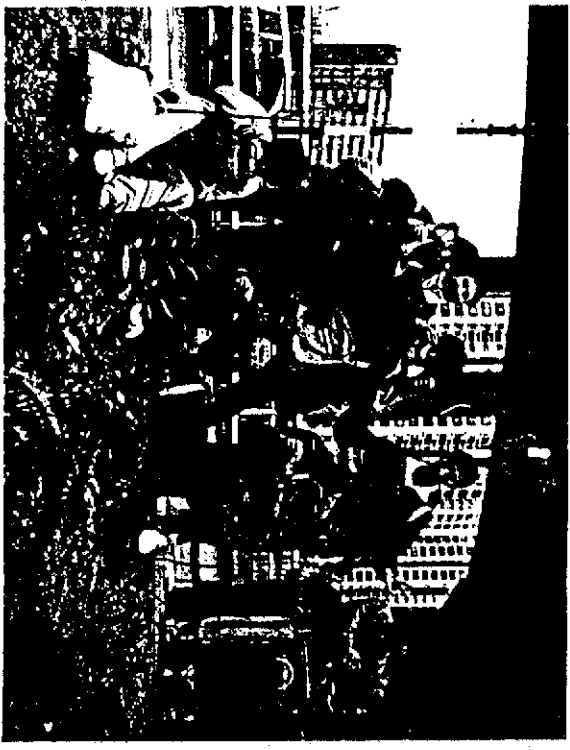
Chinese Recreation Club (C.R.C.) で試合を行った。C.R.C.

はとても豪華で日本でいう高級スポーツクラブという感じ。優雅な気持ちですポーツが得意そう。バドミントコートもバドミントコートだけのために作られていて、環境は抜群で

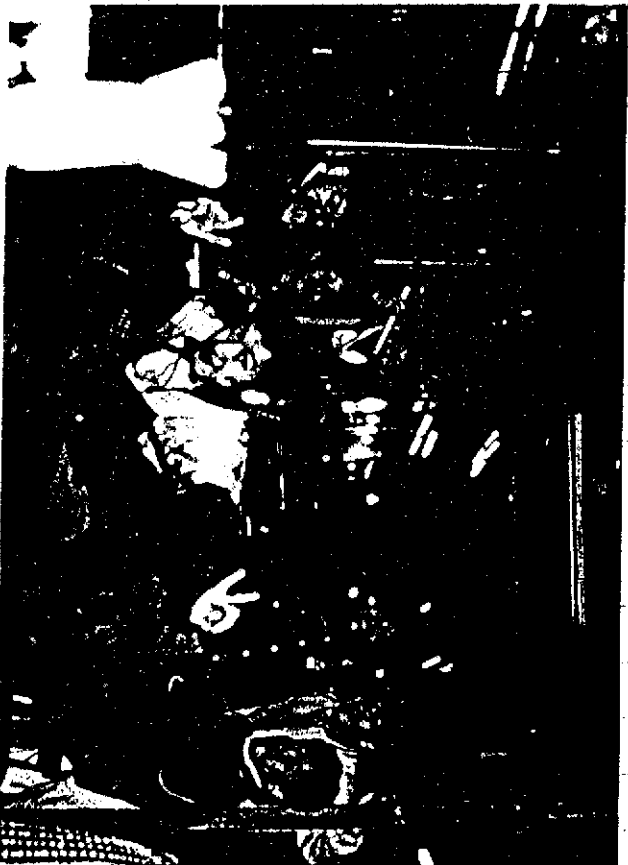
った。

最後の夜は上海街の露店で食べた。ツプラーでは食べに來ない。もうな所であり、うれしかつた。

ここは屋外にテーブルが置いてあり、屋根は心ある。露店それだけが、自分たちを害にしようとするやうな感じではなかつた。まあ、どこかの店でも大差ないやうな感じだ、とにかく汚かつた。



↑ 四日、丁S.C.の帰りに、沙田駅前で「豆腐花」なるものを食べているところ。スープを入れるやうなおわしに豆腐とミツを入れてあるだけ。シシヤで食べる。路上で売っていた。



そこで「食べたいのは鍋物。まともなものから、内臓や牛の皮まで入っている。僕は

↑ 上海街の露店で”

この時がチヤニ又とばかり、内臓や牛の皮など変わったものを一人ぞいの気になつて食ひた。それは香港人の Vivian ぞいさえいやがるものであつた。決してうまいものではなく、これかたたり、聖朝、食あたりをおこしていたのであつた (Tse Bun がぞいんぞいすすめるからいけなうんだ。畜生!!)。

ここを出ると、糖きびが売つていたので買った。糖きびの皮をはいでくれて、それをそのままかじつて、そのミツを吸ひ、残つた繊維は、はき捨てる。甘い。残りの繊維が口中にあると気持ち悪かつた。あまりいいものではなかつた。この後、Y.M.C.A. ぞい farewell party をしようとした。たが、その時すでに 12:30。10:30 以降は宿泊者以外は入れてもらえず、抵抗空しく断念した。本当に残念ぞいあつた。

五日目、Jenny、Vivian の突然の来訪によつて目覚める。食あたりをおこしている自分は自分の晴れぬまま、William の通う香港大学へ向う。船ぞい香港島へ渡り、バスに乗りて行く。William

の家は香港大学の前にあった。香港大学内の食堂で朝食をとりうと食べたが営業しておらず、校内を見学するにせよした。

香港大学も山に立地していて、階段が多く、そこをぐるぐるするうちに自分はそのあたりに元気がなくなってきた。香港



香港大の前で

大学の印象は、中文大学より都会的でアカデミックであった。日本の大学に近い。

校内見学のと、Williamの案内で、大学から少し歩いて下ったところにある市場のようなところで食事をした。ここも露店のようなたとところぞ外にテーブルを置く。ここは市場か商店街のようなたとところであるうか。露店のようなたものかかひしめきあひ、人々であふれている。こ



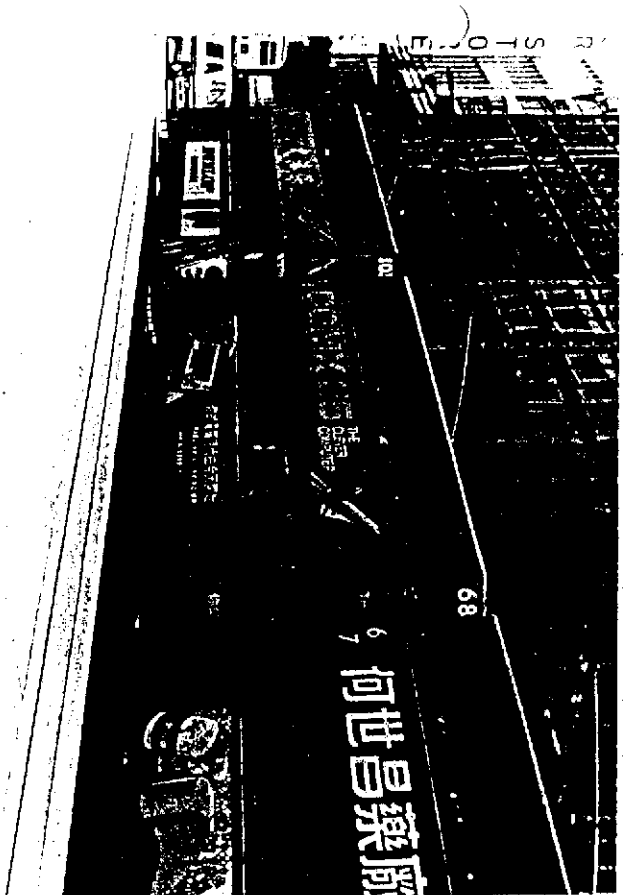
この住民だ
けが来るよ
うであり、
騒々しい（
左写真）。近
くでは皮も
はいだ頭
のなカエル

を売っていろし、日用品や食べ物まで本当に色々な店がある。

ここで出てきた料理は、パン・おかゆ、そして、揚げていない春巻の皮を巻いたようなもの、なごであったが、自分はそのを見ることが出来なかつた。みんななごおいしそうな顔がうらやましかつた。

このあと、近くを通っている二階建路面電
車に乗り、中環^{マツライ}へ戻った。この電車で、香港
の交通機関は全て制覇したことになる。この
路面電車は、車両によつて色々な広告が書か

れ、色彩が豊かでおもしろい(下写真)。速度はかなり遅く、また日本の路面電車のような優先制はないようで、ズンズンバスや自動車



なズンに割り込まれ、なかなか思うように進まず、何台も路面電車が遅々なっていきる場合も多かったです。

しかし、二階から香港の街を見おろす風景はなかなかいいものであった。

路面電車を降りると、そこで買物タイムとなった。僕は気分が悪く、買う気もおこらなかつたが。ただ、このあたり(中環^{セントラル})は車の排気ガスがすごく、苦しいなあ、とだけ感じました。きっと、日本のような排ガス規制はないのだらう。

買物の後、Y.M.C.Aへ戻り、陳^{チン}智^チ才^{サイ}と共に飲
茶をしに行った(下写真)。さすが香港No.1の人が
行くところぞ、かなりいいお店のようであっ
た。飲茶とは中国茶を飲みながら、ワゴンの
ようなもので運んでくる料理を運んで食べる
ことをいう。やはり僕は、何も食べず、中国
茶しか飲まなかかったが、しゅうまいがおいし
かったようである。

▼ 時間の都合で30分

位しかいられたな
か。したが、飲茶
とは本当は新聞
を読んだりしな
がら2時間くら
いかけながら乗

しむものであるらしい。

ここを出ると大急ぎでY.M.C.A.に戻り、帰国
すべく、空港へ向かった。短かすぎた五日間
が終わるうとしていいる。空港の免税店が急い



FILIPINA OR AIR INC.

で"買物を済ませ、ついに帰る時が来た。空港
 まで来てくれたのは、^{ジョン・キネコイ}陳智才, William, Vivian, Jemy
 の四人 (Ise Bun がいか、たのはさぶしかっ
 たが)。別れのあいさつを一度かわしたがる、す
 ぐには別れることではきまず、もう二、三度、
 bye-bye と言った後、やうと税関へ入ることに
 できました。我々の香港遠征は無事終了した。

—完—

12 / 20 (株) by CTKR
東京 千代田区 → 成田空港

AH 7:45 LIMOUSINE DEPART

AH 7:00 CITY AIR TERMINAL 集合

柳井様, 五味判様, 川中 通方, 幸島 登平

2分遅刻

千代田と2人でバスです。おさむの管理
(千代田は車を見送りにして立ち去る)です。一

生人到着
石井さんが来る。第1下宿にT改。

誰もが22:50。あー石井さん。出にいますか？

千代田寝坊で成田に直路向かっていること
も信じて 今6人でバスに乗りました。

出発中一歩の遅れ。皆不安の顔が広がります。
どうしてですか。

津原さんへ。おれが石井さんを押さえて
バスに乗った。おれは遅い。

おれが最初の遅れ。おれは遅い。おれは遅い。
おれは遅い。おれは遅い。

おれは遅い。おれは遅い。おれは遅い。
おれは遅い。おれは遅い。

おれは遅い。おれは遅い。おれは遅い。
おれは遅い。おれは遅い。

おれは遅い。おれは遅い。おれは遅い。
おれは遅い。おれは遅い。

遠征誌より抜粋

20日

FEL-1 No. 1

石井 田中 佐藤

五月 都立

「余中下津 2022 下井」
ML 2.2.2017

佐藤 田中 佐藤

Which would you like, pork or fish?

2. 田中

1. 田中 田中 田中

Sorry we have no chicken
by Noel

田中 田中 田中

田中が女子高生に「おはようございます」

by Noel

「おはようございます」失敗を繰り返す。(田中 田中 田中)
おはようございます。同じ失敗を繰り返す。(田中 田中 田中)
おはようございます。おはようございます。(田中 田中 田中)

20日 定 小 永 行 雄

不思議な事であるが、今回は外国に來つた
 人達の旅情が全く異なる。合宿の時の採留の
 或は、試合の時の賭けが異つたやうに、
 気がなつかぬ所がある。香港は(今の所)ほどに、
 わけのわからぬところの土地ではない。
 繁華街を歩いたけれど、大の事な語りは早急だが
 香港を歩くと人は又入明子の *atanyakee*
 を穿つてゐるやうだ。本当にさまたげの人は
 た街だ。最近、日本(東京)を歩くと感じ、
 人が重さの影を感じ、歩くと足が
 暗 ————— () 部分の金と云ふ程
 感じはせぬ。著者が明子の国を歩いた。
 素直な感じが心から伝はつてくるやうな
 日本を 20年前には二人は将来性を持った

蒼の国だったのには何かが考えられよう。
 見知らずに幸せヌラに街を歩く人達。
 香港の初印象はヌヌの風だったよ。

何の憂もたなく、バビロニアを築き旅行は
 ぶすくニ水が最後でしよう。
 残さぬたぢらヌで何と見つけし水子カ。
 のん試合をやるがね。

香港のワレヤ=皆上人。

218

石井 宏明 (中文 大学) のワレヤ = 皆 藤 川

フェイス (deception) がきかたない。

ワレヤ 未知 (conticipation) を行なうと少くない。

ワレヤ、それ 試合 経験 おいぬ 試合 観戦

careen の不足 ための、それと...

関東の大学で「は」の語の中をいってこれるか!

careen

21 夜

(20日) by Octopus
「313」幕が「多」土お。また「2日」

「た」土「和」2幕。213. 1. 2. 3日. 1. 2. 3日. 我「2」
「た」土「和」2幕。213. 1. 2. 3日. 1. 2. 3日. 我「2」

世話「2」土「和」2幕。213. 1. 2. 3日. 1. 2. 3日. 我「2」
世話「2」土「和」2幕。213. 1. 2. 3日. 1. 2. 3日. 我「2」

昨晚 律 狂歌 3人「2」Kishinou の夜 探窟
10時「2」土「和」2幕。213. 1. 2. 3日. 1. 2. 3日. 我「2」
「た」土「和」2幕。213. 1. 2. 3日. 1. 2. 3日. 我「2」

○ 午前対中文文化交流試合 掲示板に「中大対日本大学の
(KEIODUN)

「2」色の「た」土「和」2幕。213. 1. 2. 3日. 1. 2. 3日. 我「2」
「た」土「和」2幕。213. 1. 2. 3日. 1. 2. 3日. 我「2」

中文大學にて昼食

AMEは30 日曜日 約半の時間にはよく遊んでよく
子供に遊ばせたいと申すのでY.H.C.A.にTEL。お返しに
「お返しの」を返す。Yes No どちらか。

"May I speak to Mr. Koyanagi, please number 412?"
"All right wait a minute"

"over? over? over? yes!"

PC-CP450, E30, E35, E37, E38, E39, E40, E41, E42, E43, E44, E45, E46, E47, E48, E49, E50, E51, E52, E53, E54, E55, E56, E57, E58, E59, E60, E61, E62, E63, E64, E65, E66, E67, E68, E69, E70, E71, E72, E73, E74, E75, E76, E77, E78, E79, E80, E81, E82, E83, E84, E85, E86, E87, E88, E89, E90, E91, E92, E93, E94, E95, E96, E97, E98, E99, E100.

"Hey Octopus! What are you doing?"
"I'm at the Virgin Tavern."
"Oh, I see. What are you doing?"
"I'm at the Virgin Tavern."
"Oh, I see. What are you doing?"
"I'm at the Virgin Tavern."

Do you have a badminton court? 羽球コート
Green water is 70 P.H. 特種水です。足腰に負担が
かかるとは思いますが、平たいので大丈夫です。
Fish Badminton 魚の羽球コートは、平たいので大丈夫です。
Fish is bad. 魚は悪いです。平たいので大丈夫です。

結果は 311 0-35

想がよい。お返しの。I want to have
four hearts. 緑色の心も、規則正しく作ります
の心です。

沙田の日は。お返しの。お返しの。お返しの。
お返しの。お返しの。お返しの。お返しの。

お返しの。お返しの。お返しの。お返しの。
お返しの。お返しの。お返しの。お返しの。

We had a very nice time today.

香港交流旅行記

by JSUN JSUN

香港から帰って半月が過ぎ、4月と5月の忙しさも落ち着いたらところです。あの旅を思い出すと曰く楽しい思い出が。懐しく目に浮かぶ。しかし、いざ文字にするとなると句が書いて良いのが迷います。事物がよい見たバドミントン。そして若干の印象を書いてみようと思う。

まず、バドミントン用具。施設にあって、簡単にレポートする。私達は香港で5ヶ所のバドミントンコートを見たが、それは皆日本のものとは異なり、ここでも、香港の事を書く前に日本の一般的なコートについて書く。建物はカーポコ屋根のバラックで床は木の板を、たまたま紺色のクッションコートコート。これは他のスポーツのライニングと区別するため。緑色かオリーブだ、たいてい窓はバドミントンな人が考えずにきているので、眩しかり、たり風が吹いてきたり。

ポールは穴に入れるものが無い。で、ヒニ
なものだ。

まず、香港で最初に良たコートはYMC A
の体育室で、これは一良しただけだが、一コ
ートで別の線もゴチカゴチカ引いてある日本
に近ハモのでした。床はラビンの裏のポ
ー
ル板のジョウに穴がブツブツあいていた。

その日の午前に九廣鉄道で中文大学に行
たが、そのコートは4面まで日本かヒ
遠ハはなハが、高ハ審判台と高ハ観覧席が
ありました。そして、私ヒが来るとハウ
紙が掲示板に貼、てあるのは驚いた。

その日の午後、五月女ヒニ人で、根なハ英
語を駆使してジュービリー・スポーツ・セン
ーに辿り着いた。そこはバドミントンのプ
アユース大会や香港オープンをサるとい
う程の国際的な派な施設だ、た。近代
的を建築物だ。野球場・ラツカ
ーコート等の広い敷地を
持つ宿泊施設まであ
った。建物の中には食堂、休
憩所の設備も

完備していろとハウ。大変スポーツをやるには良い環境でした。さて、バドミントン・コートを見て、また驚いた。そこは床は緑。壁は黄緑と目への影響を考えたもので、20面位とれそうな所を半分は仕切、て片方はテニス。片方はバドミントン専用で、床は足への影響を考え、てカクシ②コートのように軟かハもので、一面にスカイシートを敷き詰めたようにした。

23日に間違えて、西洋波会に行きました。そこは小中学校の床のような木のタイルに白ラインを引いたもので、まわりにはソフアとわにクリスマスツリーまで飾、てお、た。驚いたが、石井さんは「バドミントンの発生の地のおうだ。」と喜んでいた。

しかし、本当はC.R.C. (Chinese Recreation

Center) であることになつて、いたので、香港島に行つた。そこは合衆国の又ポーツランドで、通りの向いは、貧しい街並なのに、そこだけはいかにも華僑が建てたような立派な建物だ、た。そこは食堂で、毎年のこゝろ40〜50の紳士淑女に歓迎を受け、そこはサニタリチを保持して、そのまゝコートへ向かう。コートは建物の3階にあり、2面しか取木ないが、中国人と管理人がいる。樓の寢所のさうな体育館は、大きな壁と木製の仕切りで、完全にコートがうに分けられる。床はジュビリーであり、音が、天井の照明に反射を促したり、窓は量りがラヌといたかりつくとせりだ。その上、コートの周りに椅子が取り付けられていて、審判用の椅子が一段と高くなつて、いる。この椅子に座つて、軽食を取つて試合を見たり、審判をしたりして、いると、管理人がジュニアを持つて来るという具合で、金に糸目をかけずに、バドミントンを楽しもうとするところ、そのさうに

設計されるのではなしか、と思える所だ、た。
 以上が、実際に見たコートだが、それ以外
 に外でキルトミニントを穿るそうだが、屋外
 コートも良だが、次に、用具も若干書
 留めて置く。ラケットは皆ユネウ、ウズで、
 ナショナルチームの何人かはユネウ、ウズと契
 約しているようだ。シヤトルは雪峰牌とハウ
 中国シヤトルゾラライトはそう変化する気が
 した。

このを総合した印象としては、香港の方
 が、キルトミニントが身近にあり、楽しめ方が
 知られてくるような気がする。それは、キルト
 ミント・コートが建築物の一部に組み込ま
 れている所が多く（良た所は全てそうた、た。）
 しかモキルトミニントを穿しはする観客席が
 ある。それはモキルトミニントが、ウズカ
 ー、バスケットに次ぐ香港で一番目に人気の
 あるスポーツだからで、何番目に人気がある
 か、わからなはい日本と比べると違ってくる
 しなない。それにしても、キルトミニントを一

度でもした事のある人は日本で多々いるのだが
 5. その人をうまく導いていく工夫が欲
 しい。香港では、^{チン}陳^イ智^イ才、^{チン}陳^イ念^イ慈のトウ、70、70
 シーカーが、直接に初心者小学校1, 2年
 生の子供を教えていた。そのおこな事が、日
 本であるだろウが。日本では、学校、会社、
 地域という母体を持ち、その中でしかバドミ
 ニントンができてない。母体が変わると、もうそ
 こではバドミントンができてない。そして、遺
 う母体同志の接触も少ない。香港ではバドミ
 ニントンをしたハキのは会社、学校を離れてバ
 ドミントンをする。名村、学校では仕事サ熱
 強をやるというのはあたり前のことだ。

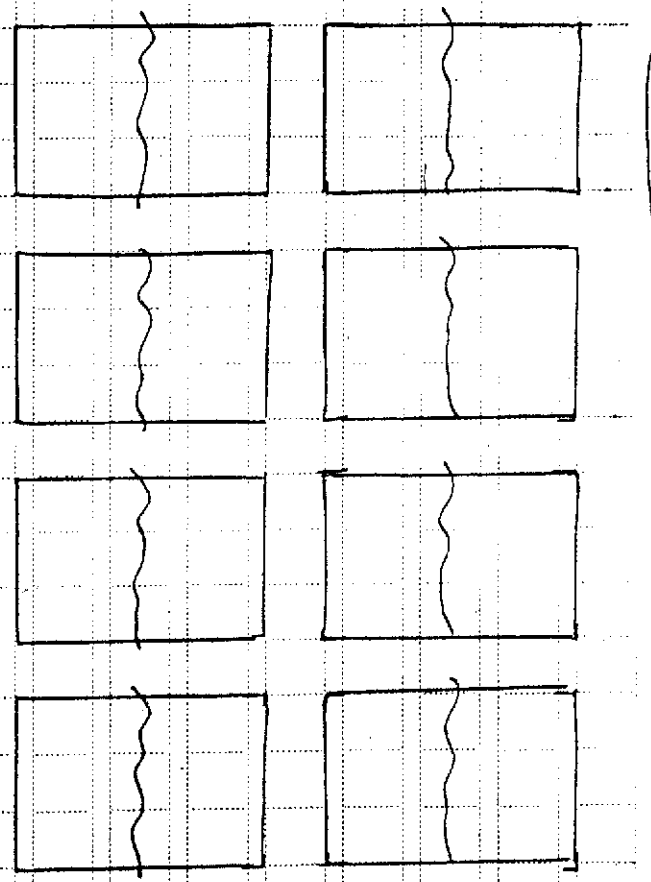
それに日本では、まだバドミントンは羽根
 フォットという^間遣、た認識が強^い。これを打
 ち砕くためにモラシビを始めとするマス
 コ。そして取り上げたい。野球を5、地
 区予選カウシレシビでやる時代にバドミント
 ンは決勝をカウシるハとはね。また、ラシビ放映
 する時も、ただ点数を追うだけでなく、こ

は、スポーツニュースで人がエキスタでかかる時だが、キ、ヒ良いプレー。すごいプレーを選んでは、て欲しい。

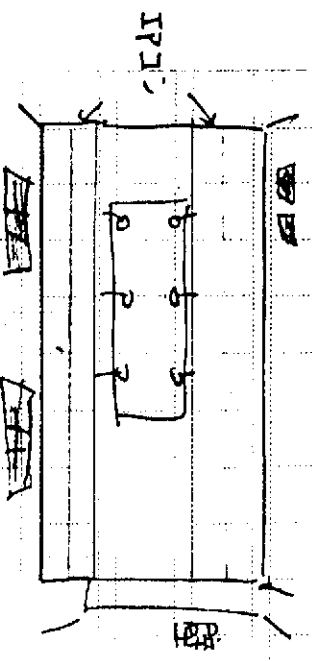
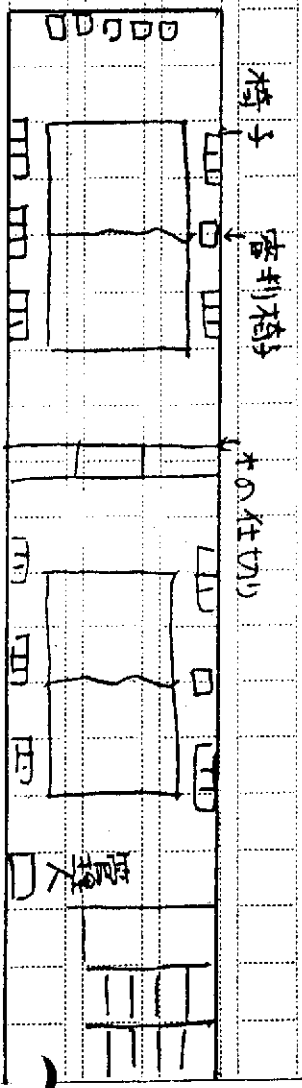
以上、後半は愚痴にな、てしま、たが、今回の香港でのバドミントンは大成功だと思。二人な事なす。も、ヒ強くな、て何度モ海外遠征のメンバーに選ばれる人だ、たと思。そしてこの成功の影には、何度モアリ-ンカ7リー-ポートでミーティングが準備をした事があり。さすがに金銭関係技を以て観望してくれた香港のバドミントングローパーとコーチのおかげである。こハは一人の々にヒく感謝してヒ足りなヒくヒいぞ、どうサ、ヒ僕スなヒ気がする。行く前は親善試合。友交試合ヒい、ヒも、ただ外国人と試合をするだけだと思、てヒたが、帰、てきて何かがわか、たよくな気がする。バドミントンは世界共通だヒい気がした。また行きたヒキのだ。今度、Japan Openに香港選手の応援に行きたヒ。

シムビリ - スホウピツ

銀禧中心 No. 56



水飲場 観覧席

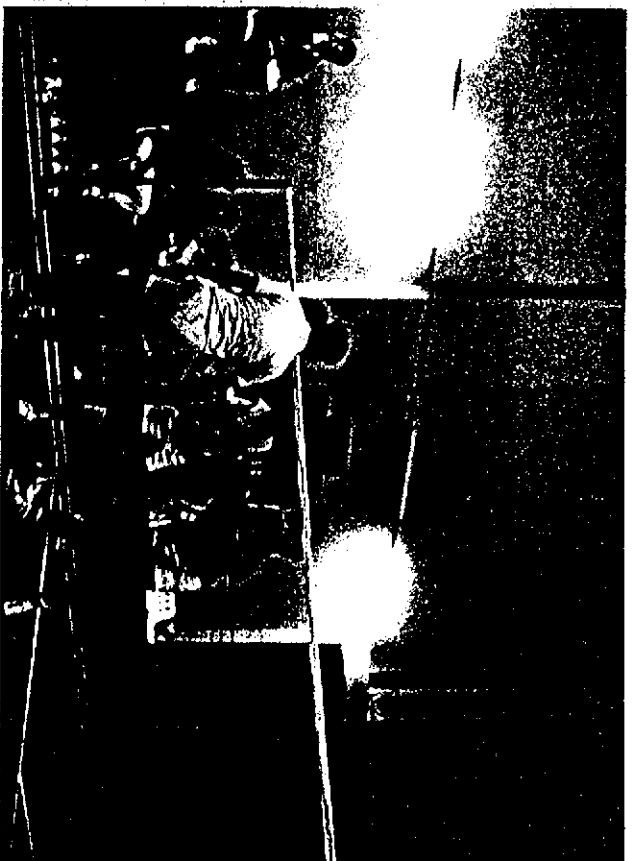


臺がラス

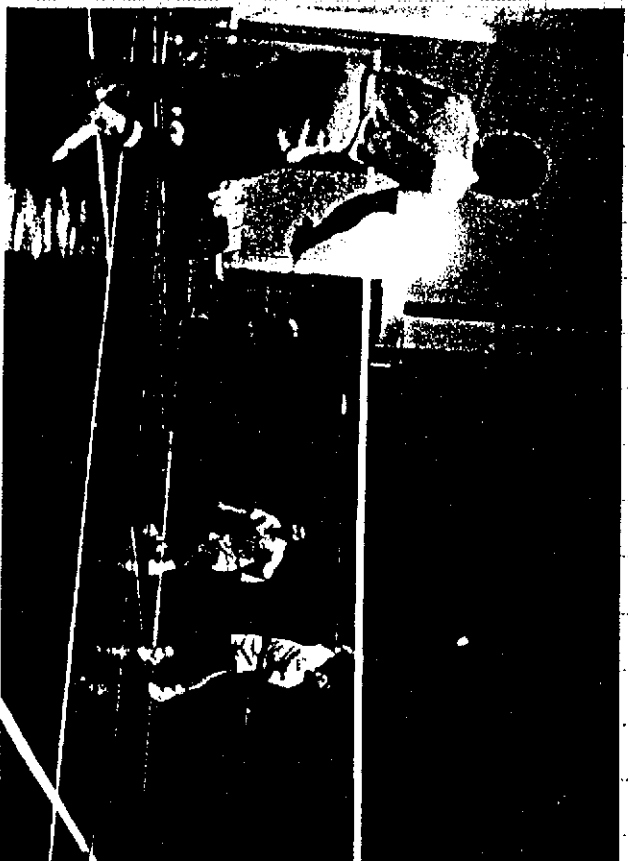
←天井

C.R.C.

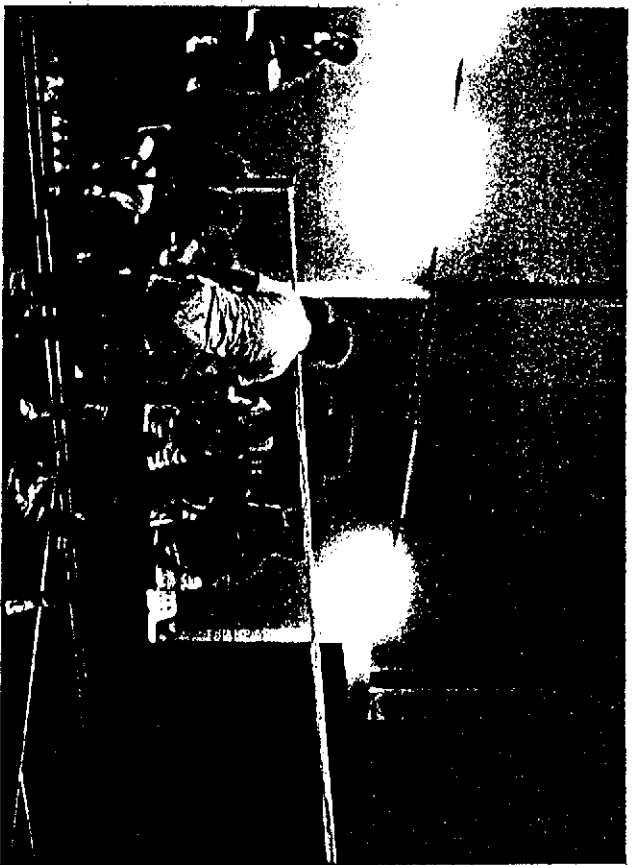
Chinese Recreation Center



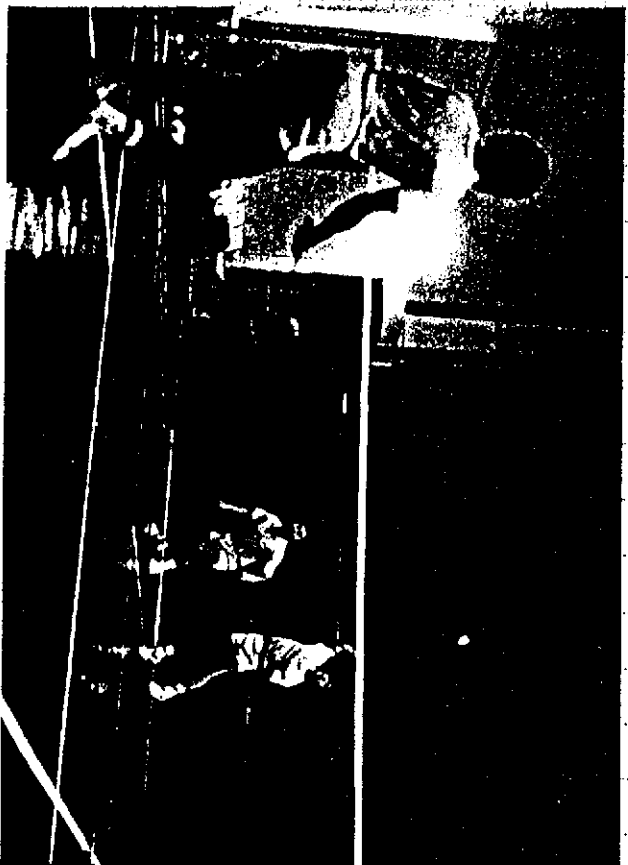
C.R.C.の子ども達に勝つには、とる五月女 佐藤組。
主審は、珍らしい主審岸川橋本にお願いだが、岸川場長。



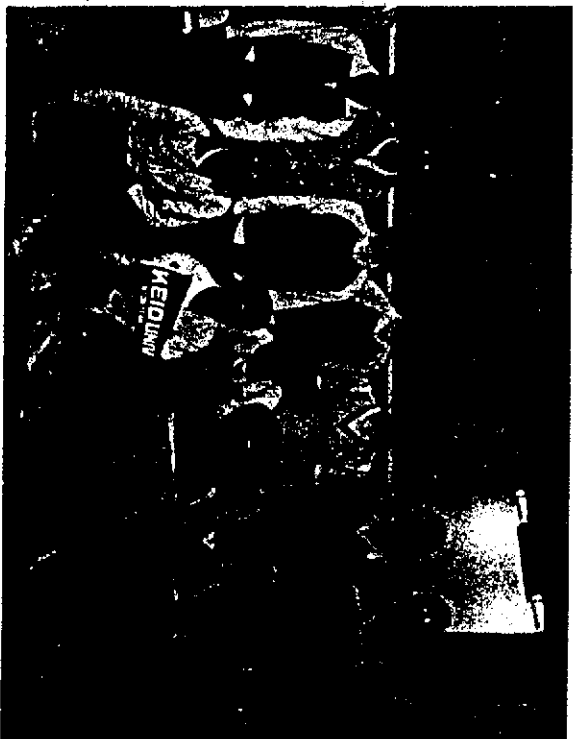
パーカー、フォードのエンジニアの会、たがが組
小柳、岸場組。



C.R.Cの若い人達に勝つはじめる五月女佐藤組。
主審は、珍らしい主審専用橋本にお願いが、に草場君。

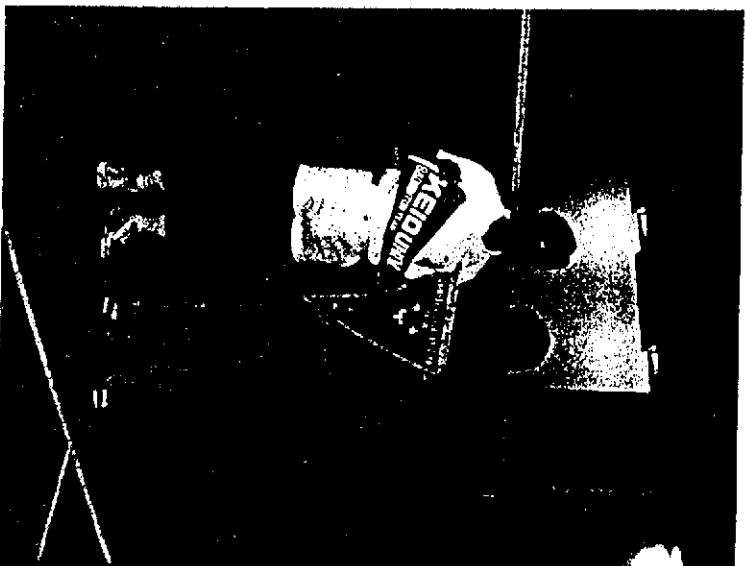


189-。アト、チロニウウのうま<アみ念、たダ"ガ"ル又
小柳、草場組。



FUJICOLOR HR 35

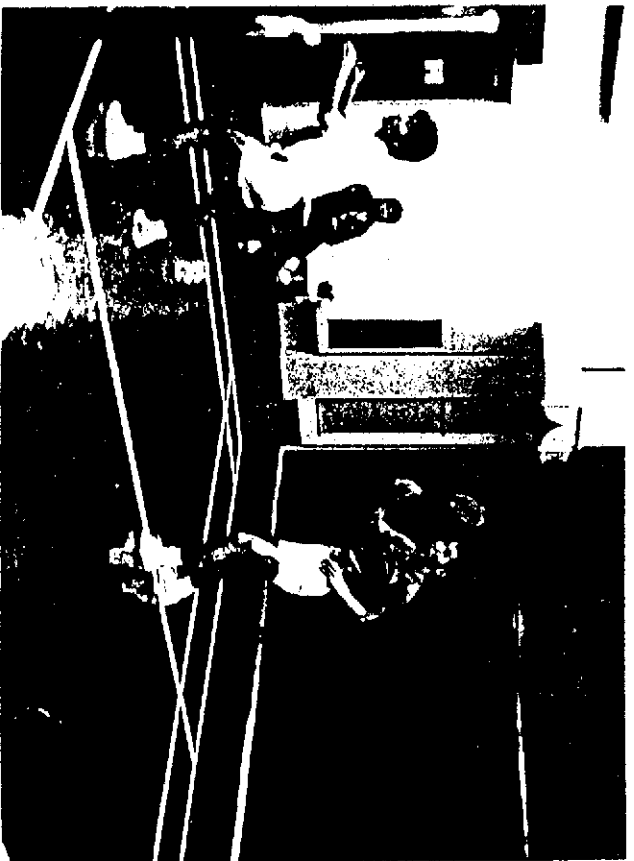
C.R.C.チームの人達とW.L.S.に



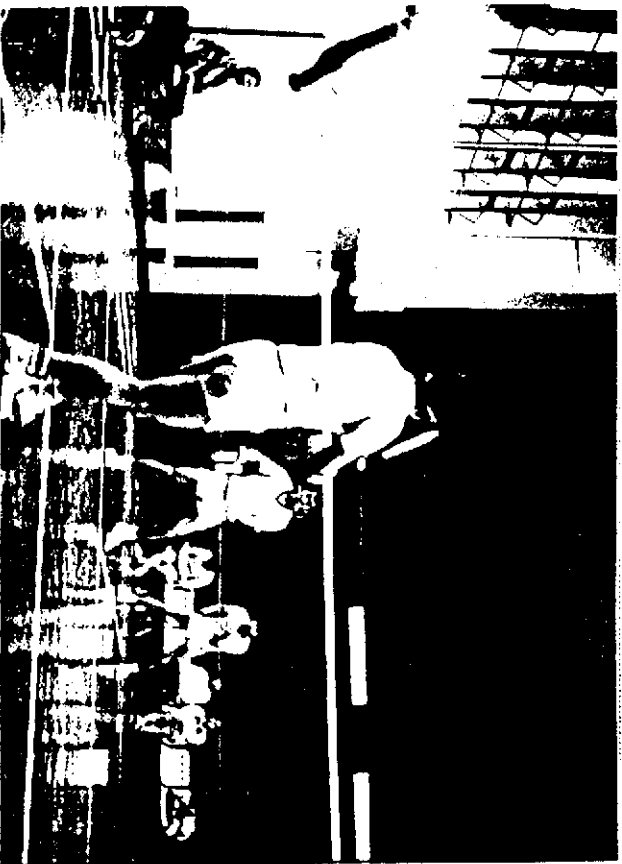
FUJICOLOR HR 35

1970.10.28

C.R.C.チームの人と
ペナントを交換
する石井コーチ



かじ シンガポールの特選チームにいたという人が相手に 口を付す程
真剣に 在中・小出組。小出選手が着てゐるのが 数日前に
負、たばかりの香港の丁シャツ。汗でぐぐぐしよた。



遠征隊チームは 負重に勝利をしたのは小出・五味組、
日に日に強くなるといふ二人。ホースも決まるといふ。

22日 宿務 S.S.M. Club Basketball

色々を書きたりすることがあります。今、私にでも癒されて
います。今日一日を籠りにうっかりしてミスにセーブ
です。午前中は香港の女子フットボールとの試合を打つた。

自分は香港 No.1 の Amy とやり、得点の多い惜敗のほうですが、
完敗しました。今日の自分は、別々の自分の気持ちで最後まで
落着いてゴールです。Amy にいかにされてしまいました。私
自分も若い、と痛感させられた試合でした。自分が不利な時には、

ゴールを変えられたい、という心からなりたい、という禁断の
でけき経験をします。Amy は女子で何か、力強い選手で、それを
改めてみて、それにはうまくなりたいと負けてしまいました。うまい
と彼女一人とやり、うまいな気がした。午後は、観光として、23日

へ行、た。その後、パークー、おしゃべりして、夕食、これが、うまい。
お昼におしゃべりした。私、香港に来た、せめておしゃべりして
おしゃべりした。

香港の人たちとやり、おしゃべりして、おしゃべりして、
今、12:30 船、明日は 9:00 AM に起床なので、もう寝ます。短かいです。
手紙、おしゃべりして、おしゃべりして、おしゃべりして、

フネージャから見た香港遠征

五味判 努

この原稿を書いていると、宿舎であるYMCAの机上で、電卓を弾きながら千一ムスネーの計算をしていた事が思い浮かぶ。遠征中の5日間、私は千一ムスネーを管理するといふ神経を使う仕事に振り回された。しかし、今とが、てみればその苦労も良い思い出になっている。

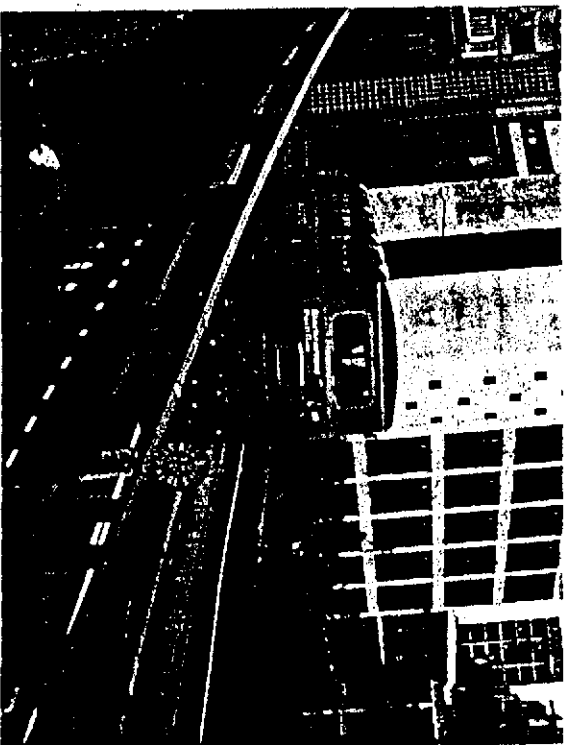
香港遠征がまた漠然としたものであ、た時からフネージャーの仕事は始ま、た。パスポート申請に対する代書依頼、航空券購入、AUV保険加入、記念品購入などを出発前までに整えとかがけられながら、たのである。出国のための準備が整、てくるにつれて、本当に香港に行けて、現地の人とバドミントンができるんたという実感が湧いてきた。そう思い込むと複雑な仕事でも難がく、がせるか、ら不思議だ。出国の準備が完了して、あとは出発を待った。こゝまで来るのは長が、

た。

箱崎のエターナルからリムジンバスに乗、エー路成田へ、車内で座席に身をおおけてこれからのことを考える。スネージャーとしてうまく仕事をこなせるか、恥ずかしい試合はしないか、自分のベストを尽くせるかなどのことが頭をよぎる。バスは成田へ着いた。出国審査を済ませ、軽い食事や買物をしながらフライトの時間を待つ。フライト時間に限り飛行機に乗り込む。試合に対する不安、現地の人との交流に対する期待、そのようなものを乗せて飛行機は成田空港の滑走路をすべるように離水た。

窓から香港の町が見えてくる。飛行機は空港に降りていく。入国審査を終えてロビーに出る。ああ！遂に来たんだ。そんな感慨にふけ、ているところを、“スネージャー。トラバースチェックを現金に換えてきて。”という言葉で現実を引きもどされる。自分の語学力への不信とスネージャーとしての自覚を

交通機関としては、私達は主にタクシーを利用した。中心はタクシーであ、たが、5日間の滞在中に香港の交通機関はあらがた乗りつとした。交通費も安か、た。料金の支払い方法やらで多少手こず、たが、遠征中ず、と世話をしてくれたジェニーやウイリスム、ビビソノ、シェービン達の助けによ、て何の不安もなく移動することができた。



FLUORON CM 114B MK

香港大学見学中、
色彩や目の階建を
バスが目の前と通り
過ぎた。
同じ模様や2階建て
バスは面白いので
乗、ていよいよ道の
目とあると面白い。
12歳の時、あまり面白い
でなかった。

換金や、目の収支計算もや、と板について
きたと思、たらもう帰国の目だね、ていた。

滞在中、私達が金銭面においても身体面においてても大過なくすごせたのはムとえに現地の人達の厚いもてなしのおかげである。ウイリスン達の支配りで私が出国前にいたいていた不安は日中の薄氷のようにとけてい、た。私のスネージャーとしての仕事が成功したのも、この遠征が成功したのもみんな彼らのおかげである。この遠征によ、て、私は人と人との交流、親身なもてなしから人間の暖かさを学んだ。このことは数字による収支決算と分、人の金を管理する苦しさと比べると較べものにならぬ。いほどの利益を私の人生にもたらしてくれた。私の香港遠征の収穫はここにあり。最終日、香港を発つ日かきた。夢のような5日間はこの別れの瞬間に凝縮されるのだ。いろいろな思いを乗せながら飛行機は香港の町を飛び、てい、た。香港遠征はたしかに終わ、た。しかしその思い出、この遠征を通しての人間的な成長は、私の人生に深く残、ていくことだろう。

23日

66

香港U19 への DIANA LO 杯への
行方が出ている。22日はいい。五月六日に
U-15に1-5で47-振り回すところ
はいい。しかし、小太りな選手が
いる。五月六日は、相手の香港
選手は、~~強か~~強かたは強かたは強かた。
集中力は、その点。特に強士の点に
付、やはり、練習量は、~~強か~~強かたは強かた。
日本の選手は、強かたは強かた。しかし、~~強か~~強かたは強かた。
この選手は、やはり、~~強か~~強かたは強かた。
あ、流石な選手が、~~強か~~強かたは強かた。
やはり、~~強か~~強かたは強かた。中国の
強かたは、~~強か~~強かたは強かた。

by 小柳

謝 斌

TSUJE-BUN

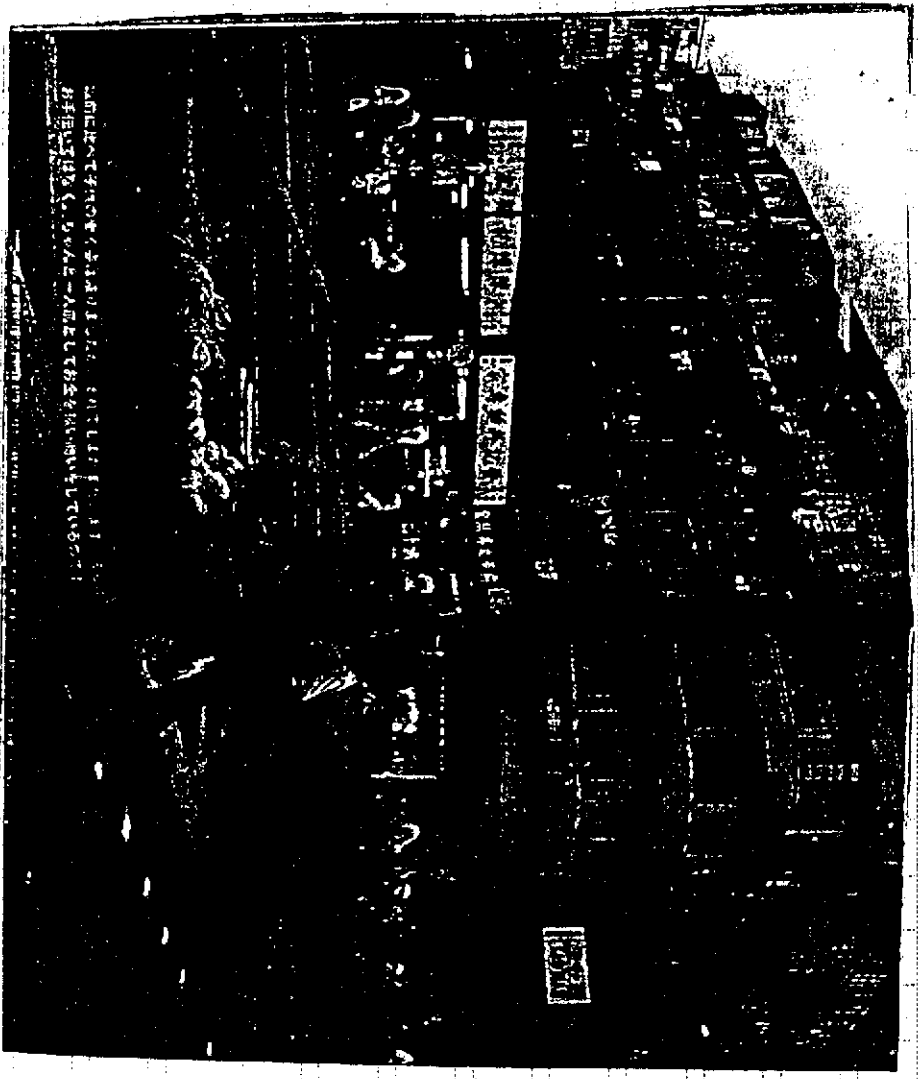
BY 小柳尚久 No. 67

フランスのクロスカリ子に遠征隊キヤプテン五月女の長イリーチの更に先に落ち、ゲームに決まった。香若ジュニア達との友好トーナメント決勝であった。フランスは18才、高校に通う傍、毎日のトレスニングに励むジュニア代表選手。公用語の広東語の他に、彼は北京語を話す。ルーツを辿れば、恐らく本土から渡って来た家族である。今彼は香若島の如き如分土地下鉄と的士(タクシー)を乗り継ぐと首人九龍側の沙田(シチン)に位む。船達が此会ったジュービリーヌポーツセクター。この沙田郊外に位置する。香港島、九龍市街の雑踏とハウリングが変わって、この大ヌポーツクラブショップスな美しい丘と崎折小舟の行き交う水路に囲まれ、ガラヌ張りの建物に入り組む。この廊下を進むと、自分が一体どこに居るのかさえ見え失ってしまった。今はまだ、この様子をフリーソフトのソフトで、今フランス私立大学代表を次々と倒し、そのあとに無表情からほろろと泣き出す美しい、如くを鮮

明に私達の脳裏に焼きつけてく火たのた。た。

香港の街を歩くと、誰しもがその熱気と、
体の五感を伝わって来る街のエネルギー、
不思議な興奮を覚える。私達の帯在中も、そ
の複雑さと、何度か人々の生気の混じり合った様
空気に、何度もこの香港の人々の生命感、そ
して躍動感を感じるのであった。英国の植民地
統治下の自由貿易港として、今日まで多くの
血と汗と涙を流して模大な財を築いて来た土
地。同時に多くの貧困と明日変わるかもしれない
ため政治は、黒社会と呼ばれる危険な地下組織
をも生み出した。生死を賭けて活きる人々の
エネルギーが、街全体を包み込んでいる様で
あった。人々の現在の最大の関心事は、1997
年の中国への領土返還の事である。99年の租
借期限を終え、全く体勢の異なる国に多大な変
わった香港。返還後50年は香港は今のままの体
勢で経済、文化活動は保って中か火る。香港
人治港、(香港の人が香港を治める)という英

中の台意に對しては、香港市尾の反応は様々である。その人有香港の人達に私達は今回の遠征で接する事が出来た。彼等の位はこの社会を私達が理解して来た有とは決して言へるは牙は無い。しかし私達の会った彼等の中にはいつと、真剣に生きた姿があり私達に常に何かを教へ続けてくたぬ様に見えるのだ。



ジュビリーセンターデパートナメントも終
 えた。厦門パリカンと私は香港東岸にあ
 るヌクソールを訪ねた。教員もの雜貨、衣
 料品を並べる露店マーケットは、ワニのフ
 ークやランプギンクのヌークやとして中国か
 らの輸入品などが大量に安値で売られている。
 「みんを商売上手だから気をつけたる。」が
 ンが言った。「皆日本に無い物ばかりだ！」
 一人が言うのとアーは聞か返す。「香港に無い
 物が日本には沢山あるだろ。？」とキレい
 ながら、高いんだこうな。」——「そうい
 えば私の見限りではどこへ行ってま、どん
 大金を見ても、日本選手のうち了は常に最新で
 さいいで、一番スターないでたちをしてい
 る。確かにそれるはこのマーケットの価格
 の数倍程するのでは無いだろうか。何気無
 い会話からふと自分達が異国から来ている事
 を想い出す。迷路の様を細く通りを10分と歩
 くと、屋台のすきまから潮の香が流れて来た。
 ハートマークジュールをこきこき来た。

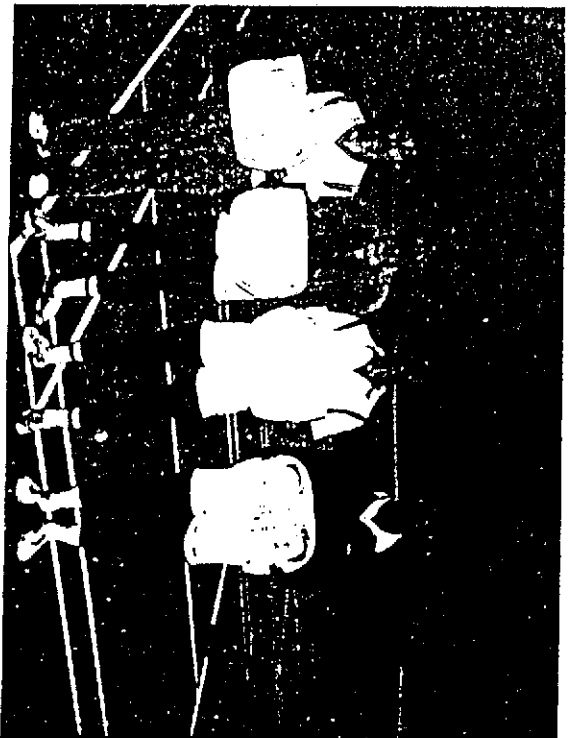
つて、やがて現れたエキストラルパ色の大洋は、
故の疲れを癒やしてくゆるおぼろしい風景で
あった。私達はしづらく、時を忘れて遠くか
ら流れる潮風に身を任せた。

「この海はどれくらいかひろいのだろうか。」「アイン
ハイムだ。」「日本へ続いているのかアインハイム
仲間の人々冠談気味に答えた。アインハイム
リとも世が水平線を見つめてゐる。」「アインハイム、
大学に日行くのかい?」「——私達は遠征三日
目に中文大学を訪ね、友好試合を行なつた
が、この中文大生、そしてもう一つの香港大
生、世界でも有数の難関の試験がある事を聞
いてゐた。そして、香港の人々にとって、將
来ハイムトカラーの仕事についてゆく為には
大学のライブラリーが何よりも必要だといふ事
も、私達の案内をしてく出たアインハイム君に
よつて聞かされた。——アインハイム君は答える。
「ああ。行きたい。今年と来年勉強をして、
香港大学に入りたい。」「アインハイム、それだけ
バドミントンには君ならきっとナショナルチ

「ムンバールに入りましたか?」私達の問
いかけに、ブンは何と答えず、再び水平線に
目を向けた。時折高くなる浪しぶりが私達
の足を打つ。私は何かを想う彼の無言の回
答に、バドミントンの強ければ大学に入ら
いなくてもバドミントンの打ち込め事が出来
る日本とは違う世界なんだという答えを聞い
た気がした。ブンは体を私達の方向に向け
「香港の事?」一人が答える。「ああ。」再
び返還の事?」一人が答える。「ああ。」再
び口を閉ざしたブンは今度口々に何か一つ
気にとり始めるのだった。「今、香港に住
む人は、皆外国に行かなくなった。お
金持ちの人はもうすぐここから出ていっ
てしまおうと存。僕も外国へ行くらしいだ。
でもその為には、大学を出てお金を貯めな
きゃ...。もち論、バドミントンは平気だ。
精一杯やってみたい!」語
彼の真剣な表情は、私達代表隊の心を打った。
私達の様な遊芸のバドミントンの買手は想像

も出来ない様な厳しさと、人生が、彼のコー
トには存在する様な思えたのは私に力を与え
た。次の朝、私達がセンターに着いた頃には、
彼はもう汗を流し、一心にシャツを脱いでい
りていた。彼は細い目を一層細め、彼怒り
の微笑で私達にあいさつを済ませ、再びカ
人に熱中するのであった。

日本に戻り、いつと変わるぬ集合の声に始
まる練習を大学で続け、いつと来る。額に汗
を流す多くの人の顔が、黙って来る。額に汗
を流させて油條を売った露店の老人、国境を自
ら越えて来る



北
語しか話
すぬ豆腐店
り、赤信号
でも先を行
く嫌に行き
交う人々

鍋かゝ立ち登る
湯気、その山の
混たり合つたた
とえさうも無い
「カ」。そして



が、私達遠征隊の一人一人の脳裏から離れ
うとし存い)。私達が5日間

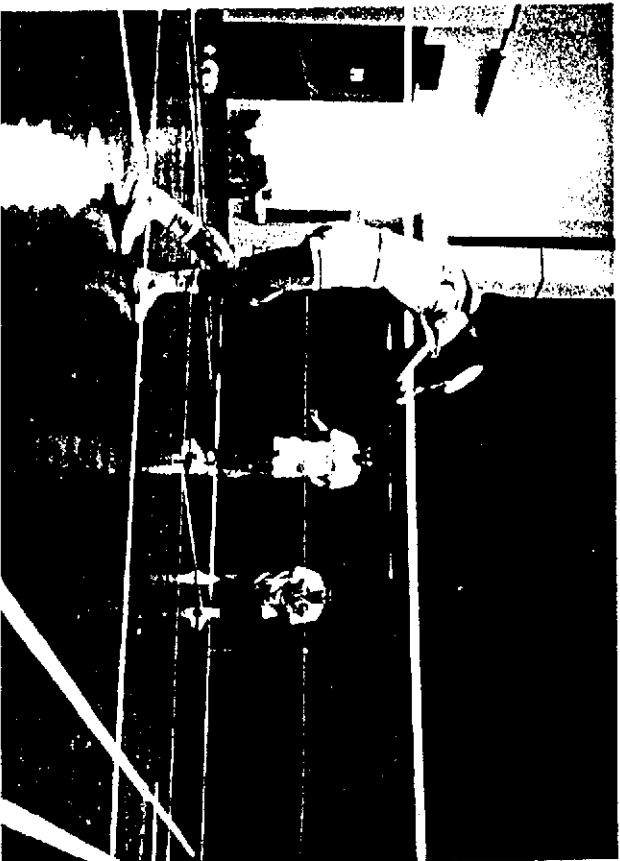


の遠征で見えた
物は何か。私達と
は全く違つた環境
の中で、精一杯生
きてゆく人々に触

んで、何かかたがとえさる私達のバドミントン
トシから、何かもう一つの新しいバドミントン
に何かかつて、挑戦して行つてほしいもので

ある。そして、
ツツ、フツツを始
め多くの人を重
な情を、いつま
でまた大切に





1985 年 11 月 11 日
D. Koyama

For KEIO U.

76

Floor B. soft kawai LAM

House: Lucky PEARA.

SHATI N. T. Hong Kong

CHAN EA, ETO,

寫字

月

屋

字

字

寫字

寫字

→ 医 証 誌 上 抄 録

Chou 談

Chou Shu ~~Shu~~

2027

この一冊にヒツト重要な資料と付

A. 練習中はきつと、それ練習が終つた時は仲良く、

その中をよむつていふことが最も重要である。

and to Kenji

練習は短く、その程度をこゝろでせよ。

そのためには練習を半分の人数で"on/off the court

を分けなさい。その方がよい。(訳: NIEL)

何か日本語がくさくさになつてゐる人がいる。

仕事に専念してゐる人で結構不安な人があつた。

私の日本語がくさくさになつたのは、そのせいだ。

これはいいくない。たぶん大丈夫だ。えい、おつた。

でもねえ(主観)の日本語を私のせいには

食ひ込んで。自分忘れたことはない。私忘れたことはない。

何か何十年後かには、この会をどうして。覚えていて

社会を救つてしまふよう努力を。

それと、私達が努力する。えい、

私達が努力する。

突然 理想と歩み返つたりする

おん付 誓ひかゝる。与度の逕程、今に70の歳ヲハ

強烈ニチゾウシ、其を考元カキヒキ出シテ、一ツの自分の

理想に合ハクテ走り出ル方ヤウニシテしまふ。

しかし、世の中はソウ簡單には行かぬ。自分一人

で理想をなす何志願もない、それと、世の中は、

歩かないでしまふ。特に自分の、親類、友人、

いゝ時はそれ思ふてしまふ、その思ふを、

手帕を addition は、あなたを、考元を、

イキダシは、私に思ふて、

by 石井

— お世話にござった人達 — 五月廿 季孝

「香港へバドミントンに行かむか？」
 という小柳氏の誘いを受けてから、之ヵ月と
 少しの12月20日。非常に長く感じた準備期間
 を経て、我々男7人の香港遠征は実現した。

遠征勧誘の際、小柳氏は今までの違うバド
 ミントンをしてしようという。バドミントン
 という言葉から連想する。……私の10年間の
 バドミントンは「勝つ」ということだけを頭
 におもてや、てきた。つらい練習に耐え、そ
 して、試合に勝つことには、そのみ、快感を
 得られるもの、と思つてゐた。ところが、今
 回、この遠征に行けば、今までとは違うバド
 ミントンに合えるという。それはバドミント
 ンに通して、香港のプレーヤーと友達にな
 るかもしれぬ、というのだ、た。彼ら
 と言葉の違いを覚えて、バドミントンの話、
 生活の違い、学校のこと等々、多々のことと
 話せたが、……楽しいものだ。とても素晴ら
 しいことだと思つる。

「是非とも行ってみたい」という気持ちにはな、たのだが、話を進めていくと、その大きな壁にぶつか、た。そのころは、英会話の問題。私の英語が通じるだろうか？私は英語をもう二年以上も学んでい、た。受験を受けている時の成績もあまりかんばしくな、た。そんな私に英会話ができるかどうか、というこ、と。そしてもう一つは、「試合に勝てるか？」という問題。香港の人々と我々の共通の話題が、バドミントンである。そのバドミントンで、コチンパシに我々がや、つ

つ



香港島へ渡る舟の上で

カメラを向ける

うかりたが、て、「ワカ

を出したからラテロリ

出てくるのは香港の

人達と同じでした。

(左から

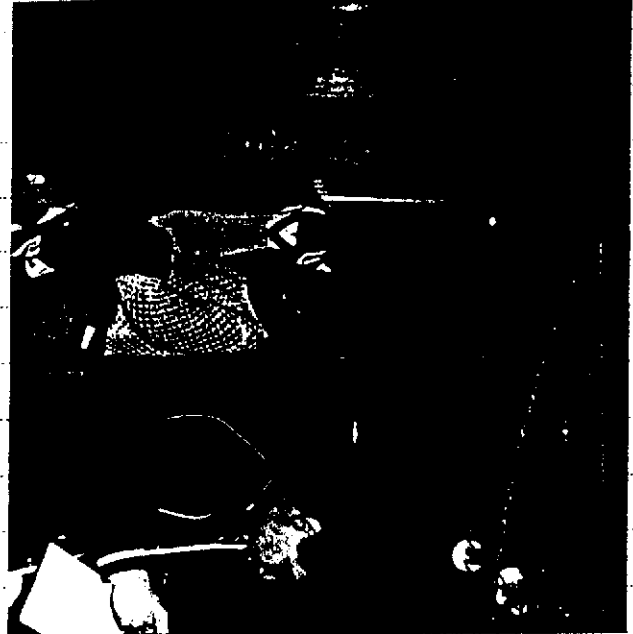
シエー、石井コチ、

ウリル人小出選手、

佐藤選手)

らわたりえ、へたくそな異語で話しかけたと
ころで、相手にさかちが、たうどうしようか。
その頃の私は、毎日毎日、遠征費かせぎの三
越通いで、ろくに練習もしてはさかち。た。(試
合が出来る状態ではなひのた)のわは、香港
行き断念にうさがるほどの大問題と考えらわ

金多ク、
大主于也、赤く、
C.R.Cで試合制の敬壇会の時



た。が、新
しいバドミ
ントの発見
の期待が大
く、香港に
く、ことに
た。(あそ
く、出だ
小柳氏を
除い

た人皆、同じ様ち不安でひ、
思う。)

2つの大きな不安材料をかえたり、
祭した我々だが、たが、
1つの異会話の不安を、ふま

たのがあ、た、この所かけて、我々の人の香港遠征が、成功したといえるものがある。それは、我々がもって来た、潜在的な英語の能力・・・であるはずが、我々の人温暖かく迎えてくれた、William、Vivian、Jenny、

Tse Bun、
Chan Chi Chai

はじめ、多く
の香港の人達
の心配りであ
る。彼らの優
し、心配りが、
我々にも勇気も
たらして、英語



香港の人達と心掛けてくれた。William、Vivian、Jenny、Tse Bun、Chan Chi Chai

英語をここでも出してくれた。

勇気を出して出してくれた、というものの、我々の英語の能力が、急に増すわけはない。時、ている能力は、変わらないうたから、口に出して言う英語はやはり、つた面白いものばかりである。動詞の面白いものや前置詞が違

言、てく水る。しかし、あまりに宗旨が良すぎる為、そのた、たノラの単語が、わからずいともいあ、た。この時は、非常に困る。

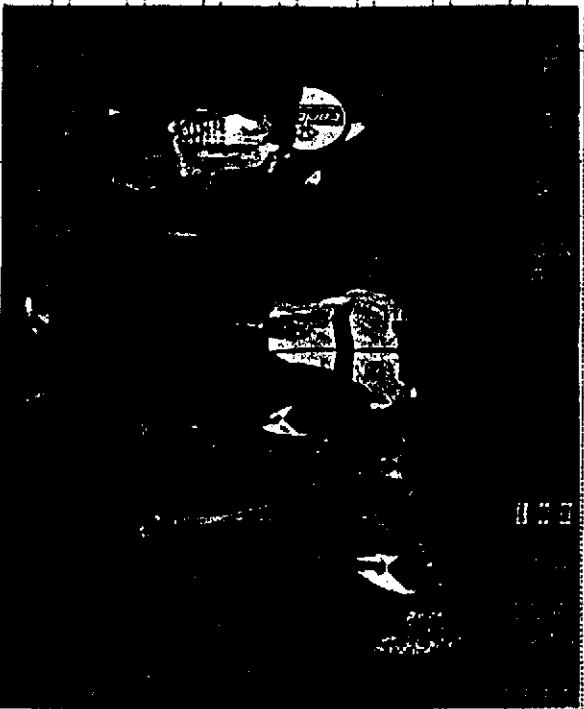
ゆ、くりと、その単語だけ宗旨してく水るのだが、よく聞きとれず。それでも、いやな顔一つ見せず、何度も繰り返ししてく水る。またわがらずに、首をひね、ていと、次は又ヘルと言、てく水る。それではじめてわがった、といふ苦勞も、たがたが、た。そのノラにこんなことがあ、た。

查卷では、クリスマスに "Christmas Ball" と呼ばれるパーティがある。この

"Christmas Ball" が William が宗旨すると、我々には「クリスマス・ボール」としか聞か

ない。首をひね、て、わからずい教をしていると、何度と何度とゆ、くりと「クリスマス・ボール」「クリスマス・ボール」と言っている。「クリスマスの棒が何？ 何人だ、それは何れに、彼が棒(=ボール)と日本語を話すはずはないし、...」といふ頭をひねりながら、「クリ

又又又、ボ一とは何が、と考えていると、
 我才がに "Ball" とわがうらひのつとよわん
 はかりに William "B, A, L, L" とよ
 てくれた。ウヤ一、子ウ、た、子ウ、た、こ
 人子調子で、英語を聞きとるのほ、非常にな
 ずかしかつた。この様は、吾心の英会話は、
 我々を英語がう遠く行くほど、子丁子可
 英会話の楽しさと導びいてくれた。しがし
 こんが我々と、5日間、英会話で行動を共に
 してくれた、香港の人達の大変なち
 のだ、とと思う。英会話がうまくなるに
 も、楽しさい5日間が過ぎたのは、やはり、
 香港の人達の
 優しい心づかい
 へのおかげだ
 と思ふ。5日
 間、世話になり
 っぱりして、
 我々がう何を
 してあげられ



(20 x 20)

香港の人達の優しい心づかいへのおかげだと思ふ。5日間、世話になりっぱりして、我々がう何を

はか、たのみに、あ人守に暖かく接してくれた、
香港のお茶人、本当にどうもありがたう。
もう一度会う機会があったら、是非この気持
ちをうまく伝えたい。

それから、何度が壁にぶつかりながら、
バドミントンを続けたまで、本当に良かった
と思う。バドミントンのあかげで、二人は素
晴らしい人達にめぐり会えた幸せを、いつま
でも忘れたい。



香港大学時代の。同大学の学生であるウリヤム君の

案内で「見学中のメンバー」達。大抵に最終日とあると

痕跡がわかる。腹痛に悩める経歴者と大ラビの

(20×20) 耳鳴症、視点のあわや...小虫症に注目。

12月24日 the last day morning

Time past quickly !!

私は何 モーヴに感動している。

ここには、活気がある。明るい

人がびっす生きている → (活きている)

William, Jenny, Vivian, TSE BUN

皆さん、ほんとにいい人たちなのだろう

CRC, ほんと素晴らしい環境なのだろう

それにして、あの人 (CHAN/CHU LAP) は

強かった。私の考えていることばかりで見過ご

していろいろあった。でもいい試合をした。

みんな自分を出し切っていた (5対6で5人が?)

うわしくなりました。

CHAN CHU LAPは元々ニカホールのプロの強豪

チームの一員だったのだろう。インボネズプロの強豪

でもよく試合にこなす。今は香森の

Police man だ。

路はガラスと度山つて。こゝは香港大学の
3町。残念なことに学生食堂は closed for 22
たけと。おかげでここがおいしいパン (onigiri) と
fish (the same) が食べた。早い。open market
の。炊いた干貝。気分は最高に外国だ。
今く香港は mysterious zone だ!!
ナニが。この卵。3412 の木が
温泉が。毛-毛-と出ている中、素早く
友人に送った! 一杯の
香港には 3 kinds
あり 3 kinds.

~~感謝~~ ちゃんニエ(?) ありがとう! ありがとう
限 小くはたおに ありがとう。Chen. Shi, anxi
Thank you very much for me

by 石井

「第二の故郷 ～香港」 教林 No. 89 石井宏明

流れ星が目の前をスーッと通り過ぎようと
した瞬間、バツと閃光を放ったかと思うと、
一瞬にして過ぎ去ってしまった。たまたまに強
烈な残像を残して……。私は、またその残像
の中にいる。

今回の香港遠征で「われわれは何を学んだの
か、たぶん、一人ひとりが全く違った答えが返
ってくるに違いない。おしろ、何も学んでな
いという答えの方が多いかもしれない。要は
何を学んだか、ではなく何を感じたか、なの
だから。

幸いにしてわれわれは、学生、ナショナル
チーム、一般の社会人etc. いろいろの人々と
パドミントンを通じて交流する機会を得た。

「中文大学 vs. 日本大学 (KEIO UNIV.)」とい
う掲示を出して、われわれを歓迎してくれた
中文大学の皆さん。本当にスポーツが分かっ
てる人々がつくれたんだなあ、と思わせるジ
ュビリーでのナショナルスの皆さん。パ
ドミントン専用コートとサインツチと素晴

らしイアナーで、われわれをゴージャスなバ
ドミントンに引きずりこんでくれたCRCの
皆さん。そして言うまでもなく、何から何ま
でわれわれの面倒を見てくれた、ニカ国語の
名前を持つウイリアム、ジエニー、ガイブ
ア、そしてグレン。香港チャンピオンのチャ
ン・チー・キョウ etc. 彼らが感じさせてく
れた「香港」および「香港のバドミントン」
はわれわれが日本で、あるいは国際社会で生
きていく中でかけがえのない「宝」となるだ
ろう。

こうい、た強烈なインパクトのほかに、も
う一つの「宝」は、これから先、7人のメンバ
ーがどこで会って、も語り尽くすことのない思
い出だ。おそろしく、空港での別れのあまりの
悲しさはメンバーに共通のものだろう。私は
こんなにも多くのものを与えてくれた全この人
々（もちろんメンバーのみんなも含めて）に
心から感謝した。そして、香港で会った人
々の誰か一人でも日本に来るようなことがあ

MY TOPIC IMPRESSION OF HONGKONG.

BY IKU

香港のバドミントン協会(バドミントン協会)は、よく訓練された選手を多く
育成したせいか、自分のバドミントンポリシーが守られている。

ポイント：前回のバドミントン大会で1-8の選手が活躍した。

ネットカゴの返球のミスが多かった。

・左右奥に振った球は、打手が奥に返せば良かった。

・足のつま先は、ネットのラインに近づいて打つべき。

打つべき。

・ネットラインの間にボールを落とすのは、打つべき。

・初めはラリーのミスは、ネットラインに近づいて打つべき。

・打つべきは、技術で自信を持って打つべき。

ポイント：ネットの処理。

何本のミスは、ネットのラインに近づいて打つべき。

・自分の体の欠点(体の大きさや、スピード)は、ネットに

近づいて打つべき。しかし、ネットは、ネットに

近づいて打つべき。

WHAT CAN I DO WITH MY SINGLES!

ポイント：前回のバドミントン、

ポイント：バドミントンの処理。

'84, 12, 20 ~ 24 報告資料
 本回香港遠征全試合結果 93

12/21 対 中文大學 (Chinese Univ) 戦
 (午前)

代表数 5 - 0 中文大

S₁ 佐藤 2 { 111 = 4 } 0 劉煜彰

S₂ 五日女 2 { 111 = 8 } 0 周健森

S₃ 草場 2 { 111 = 2 } 0 染永泉

D₁ 石井 2 { 111 = 5 } 0 孫志平
 小柳 葉嘉

D₂ 小松 2 { 111 = 3 } 0 梁紫屏
 五味端 2 { 111 = 7 } 0 新茂

OPEN 戦

五日女 2 { 111 = 7 } 0 劉煜彰
 佐藤 2 { 112 = 10 } 0 周健森

五味端 2 { 111 = 8 } 0 梁紫屏

—— 吳 J-1-4. 日本語習得中の学生との熱烈な歓迎に迎えた。初戦である中文大戦は短かいながらも深い印象を我らに与えた。吳 J-1-4 の呼びかけに。国際交流試合を一目見ようと次々と体育館に集った学生達も、ゴールに對する熱い拍手は遠征始まる。この日も無心の心を奪い立てた。—— 小柳

12/21 香港青年 (0.19) 午-公 94

(午後) 練習交流試合

代表隊 3 (3分+) 5 香港青年隊

佐藤 1 { 15-9 } 1 張杰生

五月女 1 { 15-15 } 1 李道成

草場 1 { 15-15 } 2 謝斌

五味淵 0 { 9-15 } 2 莊青

小虫 0 { 5-15 } 2 徐欣

五月女 0 { 2-15 } 2 楊奕琦

草場 1 { 12-15 } 1 莊青

佐藤 0 { 8-15 } 2 徐欣

小虫 2 { 15-8 } 0 謝斌

石井 2 { 15-2 } 0 張杰生

五味淵 1 { 16-17 } 1 譚慧娜

五月女 1 { 18-17 } 0 徐欣

石井 2 { 15-2 } 0 譚慧娜

522- 4th Badminton Court? 且...

Green note 送の 707 は特短を...

足踏は負担が... 長い列に耐えたい I want

息が苦しい... to have four hearts !!

五月女

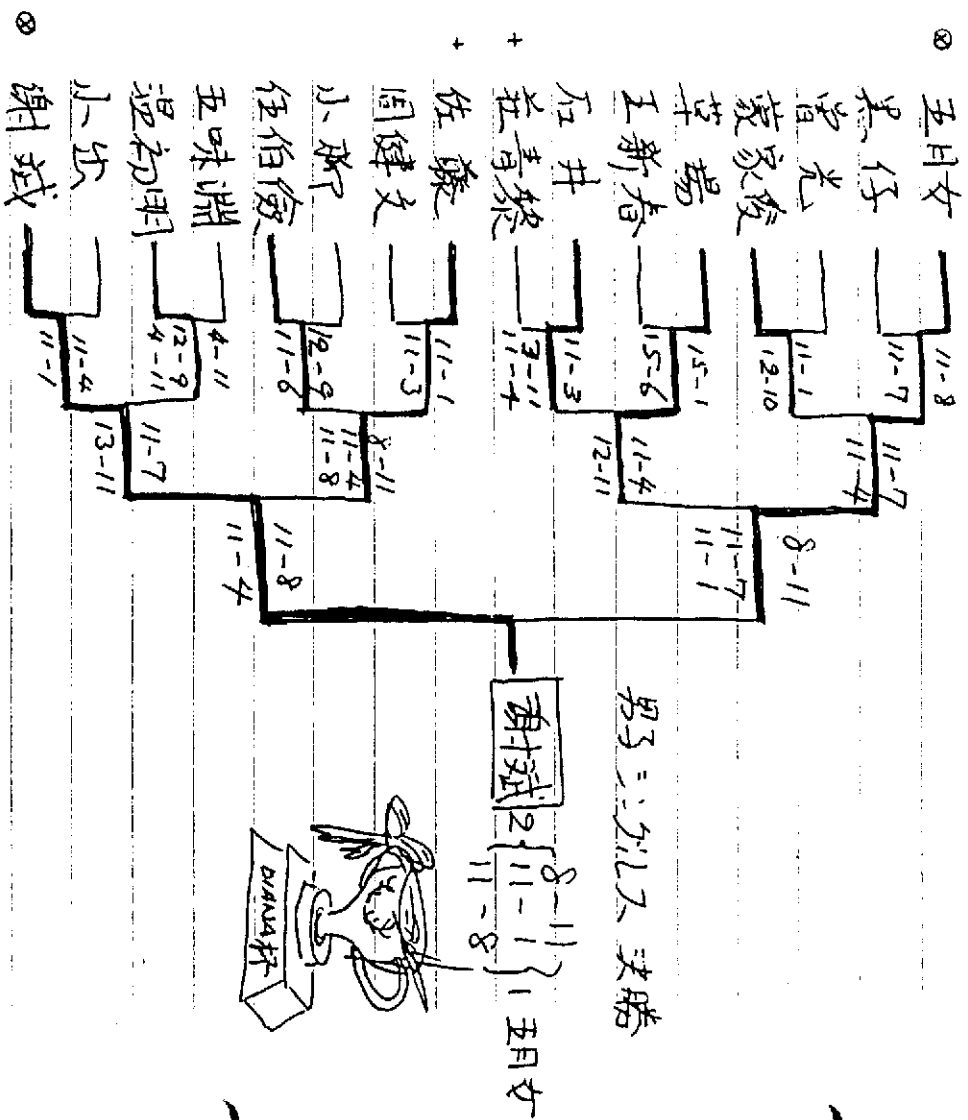
12/22 香港女子テニストーニニ戦

代表隊 (午前) 9 - 2 香港女子隊

佐藤	0 { 9 = 12 } 2	陳念慈
五日女	2 { 11 = 3 } 0	王夏萍
茅場	2 { 11 = 8 } 1	唐春政
小虫	0 { 3 = 11 } 2	潘慧娜
小柳	2 { 5 = 7 } 1	陳小輝
石井	2 { 11 = 3 } 0	李瑶瑶
五味淵	2 { 13 = 11 } 1	
佐藤女	2 { 15 = 8 } 1	陳念慈
五日女	2 { 15 = 15 } 1	陳念慈
小柳	2 { 15 = 5 } 0	唐春政
草場		唐春政
小虫	2 { 17 = 15 } 1	陳小輝
五味淵	2 { 15 = 11 } 1	李瑶瑶
石井	2 { 15 = 8 } 0	吳崇意
五味淵		陳崇意

— 自分香港Nola Army (中) 帰点の
 上での惜敗の子を才が完敗した。今日の自分
 は別の自分の様で、最後打落着いて、70%の出来ず、
 Army (中) の50%の出来ず。才は自分か若
 との事之痛感、才の出来ず試合した (競く)
 佐藤

23日 香港 シュニ了午-ム、青年午ム
 (午前) ヌニバン、代表隊合同
 DIANA LO 杯 友情 F-カニ



W 木乃二戦
 五味淵 0 { 6-15 | 15-12 } 2 浮輝 小柳 1 { 6-15 | 15-17 } 2 蒙家俊
 小出 2 { 15-12 | 15-12 } 0 任伯俊, 石井

五味淵 2 { 15-12 | 15-12 } 0 任伯俊, 小出

23日(午後) Chinese Recreation Centre
C.R.C. 4-6 交流試合

代表隊 4 - 3 C.R.C.

W1 佐藤安 0 | 21 - 11 | X TANG MAI CHU
SIHON DAI

W2 葉瑞輝 X | 14 - 21 | 0 CHAN CHIU LAP
BEN MOK

W3 王味開 0 | 12 - 15 | X SIMON DAI
SONG WING CHUEN

W4 葉瑞齡 0 | 21 - 3 | X YEUNG WANG YIP
SIMON DAI

W5 石井 五味淵 X | 9 - 21 | 0 BEN MOK
CHAN CHIU LAP

W6 佐藤女 五井 0 | 21 - 14 | X SONG WING CHUEN
TANG MAI CHU

W7 小石 出井 X | 11 - 21 | 0 YEUNG WANG YIP
CHAN CHIU LAP

(略) こちらは 23-7-16 有るが、1. ボール
トニ専用で、3-7が550と固い、それ以外
は、ボールを打てる中で一番ボールを
楽に打てる設計をしたものだ。—— 草場

—— C.R.C. 何の材料も環境をのぞく
それ以外は CHAN CHIU LAP が強かた。私の考え
の事や、お見通ししている様だ。—— 石井

編集後記

98

3月中に完成する予定だったこの遠征誌もなかなか仕事が進まずにこの遠征から丸一年が過ぎた今頃にはようやくの日々を見ることになりました。

期待していた程、中身の濃さもそれほど海外旅行記に終始しているように思いますが、皆さんの感想はどうか。

学生リーダーの諸君が近い将来、香港にある他のアジアの国々に遠征するに決めた夢ではなっています。

そして、多くの若いリーダーがより広い視野で、より高いレベルの目標を掲げ、日本への発展に力になることを願っています。